

伊勢原市次世代育成支援対策行動計画「いせはらっ子応援プラン」

平成25年度事業評価

平成26年7月
伊勢原市子ども・子育て会議

【事業評価】

平成26年度までの計画目標中、平成25年度に達成すべき内容に対する進捗状況について、担当課において次の3ランクで評価した。

- A（計画どおり進捗した）
- B（やや遅れている）
- C（ほとんど進捗していない）

くらしを育む びのびを育む まちを育む

夢や喜びを抱いて子育てができる地域をつくります

家庭における子育て力の増進

1	幼児家庭教育学級	社会教育課
2	家庭教育講演会	社会教育課
3	夏期保育体験	社会福祉協議会
4	中高生と乳幼児等との交流事業	保育課

地域ぐるみ子育て支援の推進

5	高齢者を活用した子育て支援（世代間交流事業）	保育課
6	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課
7	子育て支援センター事業	子育て支援課
8	地域育児センター事業	保育課
9	子育てグループの活動支援	子育て支援課
10	つどいの広場事業	子育て支援課
11	子育てサポーター養成事業	子育て支援課
12	地域における子育てネットワークの形成	子育て支援課
13	（再）幼児家庭教育学級	社会教育課
14	（再）家庭教育講演会	社会教育課

次代を担う子どもの成長を支援する環境を整備します

幼児期の教育・保育環境の整備

15	幼稚園就園児補助	子育て支援課
16	幼稚園就園奨励費補助	子育て支援課
17	幼稚園教材費補助	子育て支援課
18	私立幼稚園施設整備費補助	子育て支援課
19	幼稚園障害児教育費補助	子育て支援課
20	保育所の整備	保育課
21	民間保育所運営費補助振興助成	保育課
22	障害児保育事業	保育課
23	民間保育所建設費借入償還金助成、民間保育所施設整備・設備整備補助	保育課
24	私設保育施設（認定保育施設・届出保育施設）補助	保育課
25	分園設置推進助成	保育課
26	幼保連携の検討	保育課 子育て支援課

学習活動の支援

27	小中学校校舎等改修事業	教育総務課
28	小中学校校舎等地震防災対策事業	教育総務課
29	小中学校施設維持管理	教育総務課
30	通学区域の弾力的運用	学校教育課
31	中学校給食の導入事業	学校教育課
32	教育研究、研修の充実	指導室
33	学習活動支援事業	指導室
34	移動教室推進事業	指導室
35	国際及び姉妹都市交流教育推進事業	指導室
36	文化教育推進事業	指導室 教育センター
37	情報教育推進事業	指導室
38	創意ある学校づくり推進事業	指導室
39	部活動推進事業	指導室
40	各学校との連携	福祉総務課
41	伊勢原市子ども読書活動推進事業	図書館・ 子ども科学館
42	特別支援教育推進事業	教育センター
43	特別支援教育環境整備事業	教育センター
44	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
45	就学相談	教育センター
46	療育相談	子ども家庭相談 室
47	教育センターの教育相談事業	教育センター
48	適応指導教室事業	教育センター
49	スクールカウンセラーの配置	教育センター
50	（再）子ども科学館事業	図書館・ 子ども科学館

さかひのまちづくり 子育て支援の推進

思春期の健全な成長のための環境整備

51	街頭指導活動の実施	青少年課
52	啓発活動の推進	青少年課
53	環境浄化活動の実施	青少年課
54	未成年者喫煙防止活動の実施	青少年課
55	薬物乱用防止の推進	青少年課
56	非行防止の啓発	青少年課
57	青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進	青少年課
58	ヤングテレホン相談事業	青少年課
59	青少年相談室の相談事業	青少年課
60	思春期栄養改善事業	学校教育課
61	思春期食育事業	健康管理課
62	(再) 中学校給食の導入事業	学校教育課

子どもの健全育成の支援

63	青少年センターの管理運営	青少年課
64	青少年広場及び児童遊園の維持管理	青少年課
65	日向ふれあい学習センターの管理運営	青少年課
66	児童館の管理運営	青少年課
67	青少年健全育成事業	青少年課
68	青少年活動推進事業	青少年課
69	公民館事業	社会教育課
70	放課後児童健全育成事業(児童コミュニティークラブ)	子育て支援課
71	図書館児童読み聞かせサービス事業	図書館・子ども科学館
72	子ども科学館事業	図書館・子ども科学館
73	ミニデイ・ミニサロン活動における世代間交流の推進	介護高齢福祉課
74	海外姉妹都市高校生相互派遣事業	市民協働課
75	国内姉妹都市少年交流推進事業	青少年課
76	(再) 教育センターの教育相談事業	教育センター
77	(再) 適応指導教室事業	教育センター

多様なニーズをもつすべての子育て家庭を支援します

多様な子育て支援サービスの充実

78	(再) ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課
79	養育支援訪問事業	子ども家庭相談室
80	母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課
81	家庭的保育事業	保育課
82	一時預かり事業	保育課
83	幼稚園における預かり保育	子育て支援課
84	やすらぎサービス	社会福祉協議会
85	レスパイトサービス事業	障害福祉課
86	障害児通所支援	障害福祉課
87	特定保育事業	保育課

ワークライフバランス及び男女共同参画社会の実現

88	通常保育事業	保育課
89	年度途中入所の推進	保育課
90	(再) 一時預かり事業	保育課
91	保育時間の延長(長時間保育・延長保育)	保育課
92	産休明け保育事業	保育課
93	乳児保育推進助成	保育課
94	(再) 障害児保育事業	保育課
95	病後児保育事業	保育課
96	駅前保育事業の検討	保育課
97	(再) 放課後児童健全育成事業(児童コミュニティークラブ事業)	子育て支援課
98	児童コミュニティークラブでの障害児受入	子育て支援課
99	休日保育の実施検討	保育課
100	(再) 家庭的保育等事業	保育課
101	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等	保育課

子育て支援の推進 子育て支援の推進 子育て支援の推進

102	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（院内保育）	健康管理課
103	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等（幼稚園の預かり保育）	子育て支援課
104	（再）ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課
105	男女共同参画推進事業の促進	人権・男女共同参画推進担当
106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	子育て支援課 商工観光振興課
107	再就職への支援策の検討	商工観光振興課

子育ての悩み解消のための支援

108	（再）子育て支援センター事業	子育て支援課
109	（再）地域育児センター事業	保育課
110	子育てサロン	社会福祉協議会
111	（再）療育相談	子ども家庭相談室
112	新ママセミナー	社会教育課
113	家庭児童相談	子ども家庭相談室
114	母子父子福祉相談	子育て支援課
115	子育て相談窓口の一元化の推進	子ども家庭相談室
116	子育て支援総合コーディネート事業	子育て支援課
117	（再）健康カレンダーの配布	健康管理課
118	児童虐待防止等事業	子ども家庭相談室
119	子ども虐待防止電話相談	子ども家庭相談室

経済的負担の軽減

120	子ども手当支給	子育て支援課
121	多子世帯保育料の軽減	保育課
122	要保護及び準要保護児童生徒援助	学校教育課
123	小児医療費助成事業	子育て支援課
124	出産一時金の支給	保険年金課
125	（再）幼稚園就園児補助	子育て支援課
126	ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課
127	ひとり親家庭等入学支度金支給	子育て支援課
128	ひとり親家庭援護事業	社会福祉協議会
129	児童扶養手当支給	子育て支援課
130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	子育て支援課
131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	子育て支援課
132	緊急母子貸付金	子育て支援課
133	特別児童扶養手当支給	障害福祉課
134	障害児福祉手当支給	障害福祉課
135	特別支援学校在学者福祉手当支給	障害福祉課
136	市営・県営住宅等の情報提供	建築住宅課

親と子の健康づくりを進めます

安心して出産し子育てができる環境づくり

137	母子父子健康手帳の交付	子育て支援課
138	妊婦健康診査	子育て支援課
139	母親・父親学級／両親教室母親・父親学級フォローアップ教室	子育て支援課
140	訪問指導（妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児）	子育て支援課
141	（再）養育支援訪問事業	子ども家庭相談室
142	多胎児教室	子育て支援課
143	母親・父親学級同窓会の開催検討	子育て支援課
144	不妊治療の支援	子育て支援課

親と子の健康の確保

145	マタニティクッキング	子育て支援課
146	離乳食教室	子育て支援課
147	（再）思春期栄養改善事業	学校教育課
148	（再）思春期食育事業	健康管理課
149	健康診査時集団指導	子育て支援課
150	庁内栄養士連絡調整会議	健康管理課
151	食育推進のための体制づくり（食育推進計画の策定）	健康管理課
152	各種健康診査	子育て支援課

こども子育て支援の推進と子育て支援の充実

子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します

小児医療の充実

親子が安心して集える場の確保

子どもの安全の確保

153	乳幼児精密検査	子育て支援課
154	健康診査未受診者への指導（家庭訪問）	子育て支援課
155	育児教室	子育て支援課
156	乳幼児健康教育	子育て支援課
157	（再）訪問指導（妊産婦・新生児・乳幼児）	子育て支援課
158	アレルギー教室	子育て支援課
159	アレルギー相談会	子育て支援課
160	アレルギー職員研修会	子育て支援課
161	育児・栄養電話相談	子育て支援課
162	乳幼児健康電話相談	子育て支援課
163	乳幼児健康相談（すくすく健康相談）	子育て支援課
164	（再）療育相談	子ども家庭相談室
165	各種予防接種	健康管理課
166	SIDS予防対策	子育て支援課
167	健康カレンダーの配布	健康管理課
168	乳児訪問の充実（こにちは赤ちゃん訪問）	子育て支援課

169	二次救急小児科医療体制の整備	健康管理課
170	（再）小児医療費助成事業	子育て支援課
171	（再）ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課

172	市民参加の公園づくり	公園緑地課
173	運動公園整備事業	公園緑地課
174	防災公園整備事業	公園緑地課
175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	青少年課
176	児童遊園、遊具の修繕助成	社会福祉協議会

177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	都市総務課
178	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	道路整備課
179	関係機関との連携・防犯パトロールの推進	交通防犯対策課
180	「あなたを守る家」運動への協力	社会教育課
181	防犯指導の実施	交通防犯対策課
182	交通安全教育の推進	交通防犯対策課
183	通学路の安全対策	学校教育課
184	通学路の安全対策	道路整備課
185	通学路の安全対策	交通防犯対策課
186	防犯灯の整備	交通防犯対策課

基本目標 1 夢や喜びを抱いて子育てができる地域をつくります

施策の目標

- 子育てをしていて、子どもを持つ喜びが実感できた保護者の割合を増やします
- 地域に支えられて子育てができると感じる保護者の割合を増やします

1-①家庭における子育て力の増進

<施策の対応方針>

- 保健分野・福祉分野・教育分野が連携を図り、総合的に家庭における子育て力の増進の支援をしていきます。
- 中高生に対し、乳幼児とふれあう機会や子育てを体験する機会を拡充し、「育児」や「子育て」に関する理解を深めていきます。

1	幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課			
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。					
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6公民館で6講座実施。 ・各講座1～2教室の増 					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組結果	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施 (6公民館・5講座25教室・延べ384名参加) ①中央公民館(12教室) 延べ165名参加 ②大山公民館(1教室、高公合同) 延べ42名参加 ③伊勢原南公民館(4教室) 延べ44名参加 ④成瀬公民館(5教室) 延べ52名参加 ⑤大田公民館(3教室) 延べ28名参加	事業評価	B・Cの理由			A
H25. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○課題 ◆通年での講座であったため、講座が進むにつれ出席率が悪くなってしまった。(中央公民館) ◆4回のうち1回だけ午後に講座を開催したところ、「子どもがお昼寝を始めてしまい、外出ができる状況ではない」との理由で、当日欠席が相次いだ。(伊勢原南公民館) ◆大山高部屋保育クラブとの共催事業のため、参加者の多くは保育クラブ会員である。一般参加者も広報やチラシ等で周知しているが、参加者が集まらないのが現状である。一般参加者にとって、魅力あるカリキュラムが必要なのではないかと感じている。(高部屋公民館) ◆講座の開催間隔が短く、全講座に参加することが難しいため、もう少し長い期間で開催して欲しいとの意見があった。(成瀬公民館) ◆初回から2時間の講座では、保育に不慣れな子供にとっては厳しいという意見があったため、1回目を短く、2回目以後を長くする必要がある(大田公民館) 					
H26. 事業内容	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施予定 (7公民館・6講座27教室) ①中央公民館(10教室) ②大山公民館(2教室、高公合同) ③比々多公民館(3教室) ④伊勢原南公民館(4教室) ⑤成瀬公民館(5教室) ⑥大田公民館(3教室)	予算額・財源内訳(単位：千円)				
	年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
			国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
	H22決算	232	0	0	0	232
	H23決算	281	0	0	0	281
	H24決算	233	0	0	0	233
	H25決算	295	0	0	0	295
	H26予算	281	0	0	0	281

2	家庭教育講演会	担当課	社会教育課			
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。					
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4中学校区で年1回開催 ・地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進 					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組結果	4中学校区で年1回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校区 11/9(土) 100名参加 ・伊勢原中学校区 11/30(土) 105名参加 ・成瀬中学校区 10/16(土) 156名参加 ・山王中学校区 11/16(土) 141名参加 	事業評価	B・Cの理由			A

H25. 報告事項	<p>○課題</p> <p>◆予算削減により、講師選定に苦労している。</p> <p>◆伊勢原中学校区は例年10月第4土曜に開催していたが、中学校の文化祭が同日に移動してきたため、日程を変更したものの、桜台地区の地域行事と重なった。また桜台小・竹園小の運動会は春に開催し、大田小の運動会は秋に開催している等、南地区と大田地区では行事予定が大きく異なることから、開催日選定にも苦労している。一度、教育委員会内で行事予定の整理が必要と思われる。</p>							
H26. 事業内容	4 中学校区で年1回開催予定（10～11月頃） ・中沢中学校区 ・伊勢原中学校区 ・成瀬中学校区 ・山王中学校区	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	134	0	0	0	134	
		H23決算	128	0	0	0	128	
		H24決算	128	0	0	0	128	
H25決算	98	0	0	0	98			
	H26予算	128	0	0	0	128		

3	夏期保育体験	担当課	社会福祉協議会
事業内容	中高生を対象に「保育」の体験を通して児童福祉への理解と社会連帯の精神を高めます。		
計画目標	市内保育所11園の協力により7月、8月に実施 計180名		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			

H25. 取組結果	市内保育所11園の協力により、7・8月に実施しました。 計 137名参加（市内8校、市外6校）	事業評価	B・Cの理由
		—	

H25. 報告事項	<p>○例年通り実施。</p> <p>○公立中学は全校生徒にチラシと申込書を配布した為か、参加者がH24年度109名からH25年度137名に増加した。</p> <p>○公立中学は参加費の取りまとめを学校の先生に行っていたが、2つの中学で集金日を設定し、社協職員が参加費の徴収を行った。</p> <p>○周知方法は新たに保育園、図書館、子ども科学館でチラシやポスターを掲示していただき周知の幅を広げた。</p>		
-----------	--	--	--

H26. 事業内容	市内の中高生を対象に保育の体験を通して、児童福祉への理解と社会連帯の精神を高めることを目的として、市内11保育園の協力により7～8月に実施。 参加対象者を市内在住者から市内在住または市内在学者へ広げた。 ※財源は社協会員会費	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4	0	0	4	0	
		H23決算	12	0	0	12	0	
		H24決算	25	0	0	25	0	
H25決算	36	0	0	36	0			
	H26予算	36	0	0	36	0		

4	中高生と乳幼児等との交流事業	担当課	保育課
事業内容	乳幼児と中学生、高校生等これから親になっていく世代との交流を行い、異年齢の人との交流を通じて、家庭や命の大切さにふれ、子どもを産み育てることへの理解を促します。		
計画目標	・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			

H25. 取組結果	・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 143件 三世代交流型支援事業 延べ 109回 園庭開放 延べ 137人 ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 504件 三世代交流型支援事業 延べ 37回 園庭開放 延べ 1043人	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	例年どおり実施		
-----------	---------	--	--

H26. 事業内容	・公立保育所 4園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 ・民間保育所 7園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
	H26予算	0	0	0	0	0		

1-②地域ぐるみの子育て支援の推進

<施策の対応方針>

- 子育てをサポートする人づくり・場づくりを進めて、保護者の精神的・身体的負担の軽減を図ります。
- 子育てを地域全体で支援する機運の醸成に努めていきます。
- 地域子育て支援に関する自主的な活動を行うサークルやボランティア団体等、自主活動団体の育成と活動を支援していきます。

5	高齢者を活用した子育て支援（世代間交流事業）	担当課	保育課	
事業内容	子どもたちと高齢者を始めとした地域住民との世代を超えた交流を推進し、地域全体による子育て支援意識の醸成を図ります。			
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 			
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）				
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 143件 三世代交流型支援事業 延べ 109回 園庭開放 延べ 137人 ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 504件 三世代交流型支援事業 延べ 37回 園庭開放 延べ 1043人 	事業評価	B・Cの理由	
H25. 報告事項	例年どおり実施			
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 ・民間保育所 7園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 	予算額・財源内訳(単位：千円)		
	年度	総事業費	事業費内訳	重要施策
			国庫負担金 県支出金 その他 一般財源	
	H22決算	0	0 0 0 0	0
	H23決算	0	0 0 0 0	0
	H24決算	0	0 0 0 0	0
	H25決算	0	0 0 0 0	0
	H26予算	0	0 0 0 0	0
6	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課	
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。			
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 			
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）				
H25. 取組結果	（執行実績） <ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所：1箇所 ・会員総数：814人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員 587人 ・支援会員 202人 ・両方会員 25人 ・延べ活動件：2,650件 	事業評価	B・Cの理由	
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児への支援について安全な活動へつなげるため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうなど時間がかかったが、コーディネートした。 ○児童の年齢到達などにより退会となった児童や親から、支援会員へ近況とお礼の連絡が入っている。			
H26. 事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援する。	予算額・財源内訳(単位：千円)		
	年度	総事業費	事業費内訳	重要施策
			国庫支出金 県支出金 その他 一般財源	
	H22決算	4,656	2,375 0 0 2,281	
	H23決算	4,662	2,329 0 0 2,333	
	H24決算	4,624	2,312 0 0 2,312	
	H25決算	4,448	0 2200 0 2,248	
	H26予算	4,631	1,467 1467 0 1,697	

7	子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 支援センター 1箇所 「子育てひろば」 6箇所 「つどいの広場」 4箇所 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	(執行実績) <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース 開催日数：244日 参加者数：延べ11,639人 ・子育てひろば 開催日数：171日 参加者数：延べ3,993人 ・育児相談件数：延べ1,197人 ・つどいの広場 実施箇所数：1箇所 開催日数：142日 参加者数：延べ7,518人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所 (フリースペース内) 「赤ちゃんとこれからのママのつどい」 1箇所 (つどいの広場内)	事業評価	B・Cの理由					
		—	つどいの広場の増設については、実施場所の選定や財源の確保等の問題から、検討が進まない状況にある。					
H25. 報告事項	○継続実施 ・つどいの広場について、週3日(月・水・金)の開設日のうち、第1から第4の水曜日(月4回分)の運営を子育てサポーター連絡会への委託により実施。							
H26. 事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開するとともに平成27年度を目標として1箇所新たな開設に向けその準備を進める。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	8,289	4,276	0	0	4,013	
		H23決算	8,979	4,286	292	0	4,401	
		H24決算	7,923	3,962	0	0	3,961	
		H25決算	7,083	0	3541	0	3,542	
		H26予算	7,281	2,427	2427	0	2,427	

8	地域育児センター事業	担当課	保育課					
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援を実施します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 143件 三世代交流型支援事業 延べ 109回 園庭開放 延べ 137人 ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 504件 三世代交流型支援事業 延べ 37回 園庭開放 延べ 1043人 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 ・民間保育所 7園 育児相談事業 三世代交流型支援事業 園庭開放 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

9	子育てグループの活動支援	担当課	子育て支援課					
事業内容	①子育て支援に関するサークルやボランティア団体等に対し、活動の場や情報の提供、依頼に基づく健康教育等を実施して、自主活動を支援します。②子育て中の保護者グループが、自主的・継続的に行う乳幼児の保育活動や情報交換、親子交流等のうち、一定の要件を満たすものについて、活動費の一部を助成し、その活動を支援します（コミュニティ保育推進事業）。							
計画目標	活動支援の充実							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	継続実施 ・要望団体数：1グループ （コミュニティ保育どんぐり会）	事業評価	B・Cの理由 A					
H25. 報告事項	伊勢原市コミュニティ保育推進事業補助金交付要綱に基づき、補助要望があったコミュニティ保育1団体に補助金（125千円）を交付した。							
H26. 事業内容	伊勢原市コミュニティ保育推進事業補助金交付要綱に基づき、コミュニティ保育を実施する1団体に補助金（125千円）を交付する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	157	0	0	0	157	
		H23決算	157	0	0	0	157	
		H24決算	125	0	0	0	125	
H25決算	125	0	0	0	125			
H26予算	125	0	0	0	125			

10	つどいの広場事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感をもち、問題解決の糸口となる場を提供します。							
計画目標	4箇所 (各中学校区に1箇所)							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	(執行実績) ・つどいの広場 実施箇所数：1箇所 開催日数：142日 参加者数：7,518人	事業評価	B・Cの理由 — つどいの広場の増設については、実施場所の選定や財源の確保等の問題から、検討が進まない状況にある。					
H25. 報告事項	○継続実施 ・週3日（月・水・金）の開設日のうち、第1から第4の水曜日（月4回分）の運営を子育てサポーター連絡会への委託により実施。							
H26. 事業内容	平成27年度に1箇所新たな開設に向け検討・準備を進める。 開設日全てについて子育てサポーター連絡会へ委託し、平成25年度の委託内容を充実し、子育てアドバイザーと合同で運営を行うことにより市民協働を推進する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	2,437	1,218	0	0	1,219	
		H23決算	2,083	1,041	0	0	1,042	
		H24決算	1,829	914	0	0	915	
H25決算	1,569	784	0	0	785			
H26予算	1,751	875	0	0	876			

11	子育てサポーター養成事業	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児をもつ子育て中の親が地域で身近に頼れ、子育てをサポートする「子育てサポーター（ボランティア）」を養成し、地域の主任児童委員等と連携し、地域ぐるみの子育て支援体制を構築します。		
計画目標	・登録人員 100人 ・活動の充実		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H25. 取組結果	(執行実績) ・登録人員：142人（新規登録9人） ・養成講座：平成25年9月30日～11月7日 （延べ6日間、10科目） 体験実習10月 （公立保育所・子育てひろば・離乳食教室） ・スキルアップ研修 平成25年9月30日 ～11月7日 （延べ6日間、10科目） ・活動状況 支援センター・つどいの広場・ 子育てひろば・4か月健診・離乳食教室・ こんには赤ちゃん訪問	事業評価	B・Cの理由 A
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ・スキルアップ研修への必要性を周知し、参加を促し人材の充実につながった。 参加者数 延べ 94人		

H26. 事業 内容	核家族化が進み、地域とのつながりが薄れ、育児に不安を抱き、子育てに悩んでいる母親たちが増えているため、気軽にこのような母親たちの話を聴き、相談に乗る「子育てサポーター」養成とスキルアップを目的とした研修を実施する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	143	0	0	0		143
		H23決算	119	0	0	0		119
		H24決算	115	0	0	0		115
H25決算	92	0	0	0	92			
	H26予算	93	0	0	0	93		

12	地域における子育てネットワークの形成	担当課	子育て支援課
事業内容	地域における総合的な子育て支援に取り組むため、子育て支援センター及びつどいの広場を拠点にネットワーク化を図ります。		
計画目標	支援センターとつどいの広場のネットワーク化 2箇所		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、コンピュータネットワークの活用に限らず、支援センターやつどいの広場利用者への情報提供事業として、子育てに係る市民団体に関する問い合わせへの対応を実施する。 地域の子育て支援の充実のため、つどいの広場における子育てボランティアの協力を拡大し地域で顔のわかる子育て支援が行える拠点づくりを展開する。 	事業評価	B・Cの理由
			子育て支援総合コーディネーター事業による専任コーディネーターの配置に併せ、インターネットを活用したネットワーク化を図っていくためには投資的経費と計画を実行するための人的整備も必要であり費用対効果等を十分精査・検証した中で実施することが肝要であるため計画どおりに進んでない。

H25. 報告 事項	未実施
------------------	-----

H26. 事業 内容	26年度、事業計画はありません。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25決算	0	0	0	0	0			
	H26予算	0	0	0	0	0		

13	(再) 幼児家庭教育学級	担当課	社会教育課
事業内容	2・3歳児とその親を対象に、親は子に対する在り方、接し方等家庭教育上の問題や子の成長に欠かせない知識を習得し、子は同年代の子とともに集団生活を学ぶ場とします。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 市内6公民館で6講座実施。 各講座1～2教室の増 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施 (6公民館・5講座25教室・延べ384名参加) ①中央公民館(12教室) 延べ165名参加 ②大山公民館(1教室、高公合同) 延べ42名参加 ③伊勢原南公民館(4教室) 延べ44名参加 ④成瀬公民館(5教室) 延べ52名参加 ⑤大田公民館(3教室) 延べ28名参加	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○課題 ◆通年での講座であったため、講座が進むにつれ出席率が悪くなってしまった。(中央公民館) ◆4回のうち1回だけ午後には講座を開催したところ、「子どもがお昼寝を始めてしまい、外出ができる状況ではない」との理由で、当日欠席が相次いだ。(伊勢原南公民館) ◆大山高部屋保育クラブとの共催事業のため、参加者の多くは保育クラブ会員である。一般参加者も広報やチラシ等で周知しているが、参加者が集まらないのが現状である。一般参加者にとって、魅力あるカリキュラムが必要なのではないかと感じている。(高部屋公民館) ◆講座の開催間隔が短く、全講座に参加することが難しいため、もう少し長い期間で開催して欲しいとの意見があった。(成瀬公民館) ◆初回から2時間の講座では、保育に不慣れな子供にとっては厳しいという意見があったため、1回目を短く、2回目以後を長くする必要がある(大田公民館)
------------------	---

H26. 事業 内容	市内各公民館で幼児家庭教育学級を実施予定 (7公民館・6講座27教室) ①中央公民館(10教室) ②大山公民館(2教室、高公合同) ③比々多公民館(3教室) ④伊勢原南公民館(4教室) ⑤成瀬公民館(5教室) ⑥大田公民館(3教室)	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	232	0	0	0	232	
		H23決算	281	0	0	0	281	
		H24決算	233	0	0	0	233	
		H25決算	295	0	0	0	295	
H26予算	281	0	0	0	281			

14	(再) 家庭教育講演会	担当課	社会教育課					
事業内容	家庭教育の一助として、家庭と地域社会のかかわりや、子どもを心身ともに健やかに育てるために何をすべきか等、各テーマを設定して、家庭教育について考える機会を提供します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4中学校区で年1回開催 ・地域との関わりを促進するため青少年健全育成協議会との連携を推進 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	4中学校区で年1回開催	事業評価	B・Cの理由					
	<ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校区 11/9(土) 100名参加 ・伊勢原中学校区 11/30(土) 105名参加 ・成瀬中学校区 10/16(土) 156名参加 ・山王中学校区 11/16(土) 141名参加 	A						
H25. 報告 事項	<p>○課題</p> <p>◆予算削減により、講師選定に苦勞している。</p> <p>◆伊勢原中学校区は例年10月第4土曜に開催していたが、中学校の文化祭が同日に移動してきたため、日程を変更したものの、桜台地区の地域行事と重なった。また桜台小・竹園小の運動会は春に開催し、大田小の運動会は秋に開催している等、南地区と大田地区では行事予定が大きく異なることから、開催日選定にも苦勞している。一度、教育委員会内で行事予定の整理が必要と思われる。</p>							
H26. 事業 内容	4中学校区で年1回開催予定(10~11月頃) <ul style="list-style-type: none"> ・中沢中学校区 ・伊勢原中学校区 ・成瀬中学校区 ・山王中学校区 	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	134	0	0	0	134	
		H23決算	128	0	0	0	128	
		H24決算	128	0	0	0	128	
		H25決算	98	0	0	0	98	
H26予算	128	0	0	0	128			

基本目標2 次代を担う子どもの成長を支援する環境を整備します

施策の目標

- 伊勢原が子どもの成長にふさわしい環境であると感じる保護者の割合を増やします
- 子どもの教育環境が良好であると感じる保護者の割合を増やします

2-①幼児期の教育・保育環境の整備

<施策の対応方針>

- 私立幼稚園や保育所の自主性を尊重し、支援に努めていきます。
- 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ総合施設の在り方など、子どもや保護者にとってより望ましい施設運営を支援します。
- 幼保連携施設である認定こども園の取り組みについて、継続的に検討していきます。
- 障害のある子どもの幼稚園の入園や、保育所の入所の支援をしていきます。

15	幼稚園就園児補助	担当課	子育て支援課			
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。					
計画目標	継続実施					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対して、就園奨励費と一本化し、保育料等の一部を補助し、保護者の経済的負担軽減を図りました。	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告事項	-					
H26. 事業内容	予算額・財源内訳(単位：千円)					
	年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
			国庫支出金	県支出金	その他	
	H22決算	11,193	0	0	0	11,193
	H23決算	11,481	0	0	0	11,481
	H24決算	11,869	0	0	0	11,869
H25決算	11,217	0	0	0	11,217	
H26予算	0	0	0	0	0	

16	幼稚園就園奨励費補助	担当課	子育て支援課			
事業内容	私立幼稚園に対し、幼児教育の充実・振興及び保護者の負担軽減を目的として、助成します。					
計画目標	継続実施					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組結果	私立幼稚園を通じて就園児の保護者に対し、保育料等の一部を補助し、保護者の経済的負担軽減を図りました。 (対象) 22園、1,117人	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告事項	○補助限度額を国基準に合わせ増額した。 ○国基準額は毎年増加するが国庫補助は増えないため、市費(負担額)だけが増え続ける。 ○補助額の増額を要望する声がある。					
H26. 事業内容	予算額・財源内訳(単位：千円)					
	年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
			国庫支出金	県支出金	その他	
	H22決算	112,066	26,053	0	0	86,013
	H23決算	112,343	26,838	0	0	85,505
	H24決算	106,702	25,553	0	0	81,149
H25決算	113,167	27,486	0	0	84,891	
H26予算	177,187	39,882	314	0	136,991	

17	幼稚園教材費補助	担当課	子育て支援課				
事業内容	幼稚園教育の重要性に配慮し、私立幼稚園に対して教材費等の助成を行い、幼児教育の環境整備を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	私立幼稚園の設置者に対し、教材教具の購入等に要する経費の一部を助成しました。 (対象) 10園	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 <input type="checkbox"/> 幼稚園の設置者から、補助額増を求める声がある。						
H26. 事業内容	教材教具の購入等に要する経費の一部を助成し、幼児教育の充実と保護者の経済的負担軽減を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	4,658	0	0	0	4,658
		H23決算	4,666	0	0	0	4,666
		H24決算	4,671	0	0	0	4,671
H25決算	4,584	0	0	0	4,584		
H26予算	4,585	0	0	0	4,585		

18	私立幼稚園施設整備費補助	担当課	子育て支援課				
事業内容	幼稚園教育を振興するため、学校法人私立幼稚園が市内において行う幼稚園施設整備に要する経費に対して助成します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	改修工事を実施した私立幼稚園の設置者に対し、工事に要した経費の一部を助成しました。 (対象) 改築工事1園	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。						
H26. 事業内容	私立幼稚園が行う施設整備に要する経費に対して補助を行い、幼児教育の振興を図っていきます。 (対象) 改築工事1園	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	7,657	0	2,919	0	4,738
		H24決算	4,000	0	0	0	4,000
H25決算	2,000	0	0	0	2,000		
H26予算	0	0	0	0	0		

19	幼稚園障害児教育費補助	担当課	子育て支援課				
事業内容	市内在住の障害児を保育している市内私立幼稚園に対して助成します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	市内在住の心身に障害を持つ幼児を受け入れている市内私立幼稚園に対し、助成を行いました。 (対象) 8園、37人	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	<input type="checkbox"/> 例年どおり実施 <input type="checkbox"/> 子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、事業のあり方を検討する。 <input type="checkbox"/> 幼稚園の設置者から、補助額増を求める声がある。						
H26. 事業内容	市内在住の心身に障害を持つ幼児を受け入れている市内私立幼稚園に助成を行い、特別支援教育の充実を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	3,348	0	0	0	3,348
		H23決算	4,212	0	0	0	4,212
		H24決算	3,924	0	0	0	3,924
H25決算	3,132	0	0	0	3,132		
H26予算	3,132	0	0	0	3,132		

20	保育所の整備	担当課	保育課					
事業内容	待機児童を解消するため、既存施設の改築・整備を行います。							
計画目標	施設整備を行う民間保育所への助成 1園							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	施設整備 (空調機修繕、耐震補強工事) を行う民間保育所への助成 2園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	伊勢原愛児園＝空調機修繕 ヘルガーデン保育園＝耐震補強工事							
H26. 事業内容	施設整備 (乳児室改修工事) を行う民間保育所への助成 1園 (伊勢原ふたば保育園)	予算額・財源内訳 (単位: 千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	20,000	0	0	20,000	0	○
		H23決算	180,022	0	177,798	0	2,224	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	20,776	0	13,851	0	6,925			
H26予算	8,100	0	5,400	0	2,700			

21	民間保育所運営費補助振興助成	担当課	保育課					
事業内容	民間保育所の運営費等を助成し、民間保育所の振興と経営基盤の強化を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	・民間保育所運営費を補助 管内民間保育所 7園 管外民間保育所 11園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	・民間保育所運営費を補助 管内民間保育所 7園 管外民間保育所 17園	予算額・財源内訳 (単位: 千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	148,608	0	41,754	0	106,854	○
		H23決算	146,396	0	41,454	0	104,942	
		H24決算	134,109	0	33,727	0	100,382	
H25決算	132,984	0	30,959	0	102,025			
H26予算	140,004	0	34,994	0	105,010			

22	障害児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	○対象保育所4園、対象児童4人で実施 伊勢原愛児園 1人 大原保育園 1人 リスブラン保育園 1人 伊勢原こぼと保育園 1人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	民間保育所6園、対象児童6人	予算額・財源内訳 (単位: 千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23決算	3,209	0	0	0	3,209	
		H24決算	2,751	0	0	0	2,751	
H25決算	2,730	0	0	0	2,730			
H26予算	4,813	0	0	0	4,813			

23	民間保育所建設費借入償還金助成、民間保育所施設整備・設備整備補助	担当課	保育課				
事業内容	民間保育所が施設整備及び設備整備のために福祉医療機構等から借入した場合の償還元金について、県事業のほか市単独で助成を行います。社会福祉法人等の民間事業者が、市・県との調整後に認可保育所の施設を整備する場合に、施設・設備整備費の補助を行います。						
計画目標	継続実施 民間3園						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	市内民間認可保育所3園に補助 ・伊勢原愛児園 ・伊勢原ふたば保育園 ・大原保育園	事業評価	B・Cの理由 A				
H25. 報告事項	例年どおり実施						
H26. 事業内容	市内民間認可保育所3園に補助 ・伊勢原愛児園 ・伊勢原ふたば保育園 ・大原保育園	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	9,862	0	3,227	0	6,635
		H23決算	9,850	0	5,859	0	3,991
		H24決算	13,513	0	5,561	0	7,952
		H25決算	13,513	0	5,560	0	7,953
		H26予算	13,513	0	5,560	0	7,953

24	私設保育施設(認定保育施設・届出保育施設)補助	担当課	保育課				
事業内容	保育要件に欠ける児童を保育することを目的として設置された認可外の保育施設に対して、その運営費などを補助します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	○運営費を補助 ・市内認定保育施設 1園 ・市外認定保育施設 5園 ・市内届出保育施設 3園	事業評価	B・Cの理由 A				
H25. 報告事項	例年どおり実施						
H26. 事業内容	○運営費を補助 ・市外認定保育施設 2園 ・市内届出保育施設 3園	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	9,328	0	3,108	0	6,220
		H23決算	9,441	0	3,340	0	6,101
		H24決算	9,659	0	3,215	0	6,444
		H25決算	9,180	0	3,058	0	6,122
		H26予算	1,569	0	522	0	1,047

25	分園設置推進助成	担当課	保育課				
事業内容	乳児など、低年齢児を中心とした待機児童の解消を図るため、分園を設置する民間認可保育所の運営費等を補助します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	補助対象:ベルガーデン保育園	事業評価	B・Cの理由 A				
H25. 報告事項	例年どおり実施						
H26. 事業内容	補助対象:ベルガーデン保育園	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	1,800	0	800	0	1,000
		H23決算	1,800	0	800	0	1,000
		H24決算	1,800	0	701	0	1,099
		H25決算	1,800	0	662	0	1,138
		H26予算	1,800	0	800	0	1,000

26	幼保連携の検討	担当課	保育課、子育て支援課				
事業内容	幼稚園と保育所の役割を踏まえつつ、両者の機能を併せ持つ認定子ども園制度など、子どもや保護者にとってより望ましい施設の在り方を検討します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	子ども・子育て支援の新たなシステムの円滑な実施に向けて、情報の把握に努め、関係課との情報共有を図った。	事業評価	B・Cの理由			A	
H25. 報告事項	例年どおり実施						
H26. 事業内容	子ども・子育て支援の新たなシステムの円滑な実施に向けて、情報の把握に努め、関係課との情報共有を図っていきます。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25決算	0	0	0	0	0		
H26予算	0	0	0	0	0		

2-②学習活動の支援

<施策の対応方針>

- 子どもが快適に教育を受けられる環境の整備を進めていきます。
- 多様なニーズに対応した学習活動を支援していきます。
- いじめや不登校などにも対応するため、教育相談等を充実していきます。
- 困難や悩みを抱えた子ども、保護者、教職員が気軽に相談できるような場の提供、機会の確保、人的配置など、多面的に支援していきます。
- 子どもが自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に判断し、行動できる資質・能力を育成していきます。
- 国際教育や情報教育の充実に努めます。

27	小中学校校舎等改修事業	担当課	教育総務課					
事業内容	既存施設機能を保持するとともに、新たなニーズに対応した機能の改善を行います。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 7カ所 ・外壁改修工事 4カ所 ・シャワー設備工事 1カ所 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 1カ所 ・外壁改修工事 4カ所 ・屋上防水工事 4カ所 ・小学校トイレ洋式化改修工事 ・校舎建具安全対策工事 ・屋内運動場照明器具交換工事 	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	—							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁改修工事 5カ所 ・屋上防水工事 4カ所 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	57,201	19,860	0	32,322	5,019	○
		H23決算	0	0	0	0	0	○
		H24決算	51,398	12,281	0	23,000	16,117	
H25決算	382,374	326,769	0	41,500	14,105	○		
H26予算	315,727	86,328	0	224,200	5,199			

28	小中学校校舎等地震防災対策事業	担当課	教育総務課					
事業内容	老朽化が進む小中学校の耐震補強工事を進め、児童生徒の安全を確保するため校舎等の耐震性能を高めていきます。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化率100% (H22年度末完了) 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	—	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	—							
H26. 事業内容	—	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	958,864	302,532	0	382,900	273,432	○
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0	0			

29	小中学校施設維持管理	担当課	教育総務課					
事業内容	各小中学校の施設維持管理に努め、安全で快適な教育環境の充実に努めます。							
計画目標	施設・設備の改修及び修繕							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	施設・設備の改修及び修繕	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	-							
H26. 事業内容	施設・設備の改修及び修繕	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	83,035	1,134	0	0	81,901	
		H23決算	78,151	3,623	0	0	71,679	
		H24決算	72,715	0	0	0	72,715	
H25決算	72,903	0	0	0	72,903			
H26予算	66,535	0	0	0	66,535			

30	通学区域の弾力的運用	担当課	学校教育課					
事業内容	各学校の立地条件や地域の実情等を踏まえ、個々の児童生徒の事情に応じた、通学区域の弾力的な運用を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	個々の児童生徒の事情に応じて、就学指定校変更・区域外就学制度を適切に運用しました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○通学区域の設定は、各学校の施設規模や自治会・子ども会等とのつながりなど、さまざまな要素が関係すること。 ○一部の保護者からは選択制を望む声がある。							
H26. 事業内容	個々の児童生徒の事情に応じて、就学指定校変更・区域外就学制度を適切に運用	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0	0			

31	中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。							
計画目標	給食実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		—	スクールランチの利用は定着しています。中学校給食導入研究も継続しています。					
H25. 報告事項	・スクールランチ発注業務の実施 ・保護者向けスクールランチちらしを作成、全中学校で配布 ・中学校給食手法研究							
H26. 事業内容	中学校給食導入に向けた研究及びスクールランチを継続実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23決算	1,717	0	0	0	1,717	○
		H24決算	2,027	0	0	0	2,027	
H25決算	1,958	0	0	0	1,958			
H26予算	2,070	0	0	0	2,070			

32	教育研究、研修の充実	担当課	指導室																																														
事業内容	小・中学校に対する教育指定研究や教職員への研修等を計画的に推進し、教職員の資質及び指導力の向上を図ります。																																																
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校小学校 6校、中学校2校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 48名 																																																
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																	
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校4校、中学校1校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 約50名 	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○変更点等 ・25年度は2校の報告会が開催された。 ・初任から3年目までの46名の教員を対象に、指導主事による学習指導訪問を実施。 ○課題 ・各校とも実態に応じた、また今の教育課題に即した研究テーマを設定し、学校全体で取り組んでいる。 ・今後は新規採用者が多くなる見込みであり、現数指導主事ではきめ細やかな対応が難しい。 																																																
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究指定校 小学校3校、中学校1校 ・学習指導訪問 小・中対象教員 約50名 	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>810</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>810</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>780</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>780</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>634</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>634</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>520</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>520</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>564</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>564</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	810	0	0	0	810		H23決算	780	0	0	0	780		H24決算	634	0	0	0	634		H25決算	520	0	0	0	520		H26予算	564	0	0	0	564	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	810	0	0	0	810																																												
H23決算	780	0	0	0	780																																												
H24決算	634	0	0	0	634																																												
H25決算	520	0	0	0	520																																												
H26予算	564	0	0	0	564																																												

33	学習活動支援事業	担当課	指導室																																														
事業内容	小学校低学年において、集団生活への適応と基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、基礎・基本の確実な定着を図り、学習に取り組む姿勢をつくるため、指導補助員の配置及び小学校1・2年生の35人学級を実施します。また、中学校についても、学習支援及び集団生活への適応を図るために指導補助員を配置します。																																																
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校9校、中学校4校に17名配置 ・小学校低学年35人学級実施 (非常勤講師9名配置) 																																																
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																	
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校9校、中学校4校に15名配置 ・小学校低学年35人学級実施 (非常勤講師3名配置) ・小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置 (非常勤講師1名配置) 	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○学校現場では様々な児童生徒の対応に、人手が必要である。きめ細やかな指導の充実を図る上でも継続していきたい。 																																																
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助員 小学校9校、中学校4校に17名配置 ・小学校少人数授業・教科担当制に係る非常勤講師の配置 (非常勤講師3名配置) ・小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置 (非常勤講師1名配置) ・教育モデル推進事業に係る非常勤講師の配置 (非常勤講師1名配置) 	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>30,032</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30,032</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>28,575</td> <td>0</td> <td>1,027</td> <td>0</td> <td>27,548</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>28,595</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28,595</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>38,271</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>38,271</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>28,121</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28,121</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	30,032	0	0	0	30,032	○	H23決算	28,575	0	1,027	0	27,548	○	H24決算	28,595	0	0	0	28,595	○	H25決算	38,271	0	0	0	38,271	○	H26予算	28,121	0	0	0	28,121	○
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	30,032	0	0	0	30,032	○																																											
H23決算	28,575	0	1,027	0	27,548	○																																											
H24決算	28,595	0	0	0	28,595	○																																											
H25決算	38,271	0	0	0	38,271	○																																											
H26予算	28,121	0	0	0	28,121	○																																											

34	移動教室推進事業	担当課	指導室
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室推進事業・・・図書館・子ども科学館における移動教室 ・ふれあい教育推進事業・・・小・中学校ふれあい教育の推進 		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学館・図書館移動教室 小学校3・4・6年 中学校1年 ・各小中学校のふれあい教育援助 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども科学館・図書館移動教室 対象：小学校4・6年 中学校1年 	事業評価	B・Cの理由
		A	
H25. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○インフルエンザ等、季節によって変更が考えられる。柔軟な対応が必要である。 ○子どもたちが、学校ではできない工作や実験などが体験でき、理科への関心が高まっている。 		

H26. 事業 内容	・子ども科学館・図書館移動教室 対象：小学校4・6年 中学校1年	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,796	0	0	0		1,796
		H23決算	1,890	0	0	0		1,890
		H24決算	1,418	0	0	0		1,418
H25決算	1,654	0	0	0	1,654			
H26予算	1,652	0	0	0	1,652			

35	国際及び姉妹都市交流教育推進事業	担当課	指導室
事業内容	・英語教育推進事業・・・外国人英語指導助手配置 ・日本語指導等協力者派遣事業・・・日本語指導等協力者の派遣		
計画目標	・英語指導助手配置 小学校180日 中学校360日 ・日本語指導者派遣 小学生9校、25人 中学生4校、15人		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	・外国語指導助手配置 小学校220日 中学校360日 ・日本語指導者派遣 小学生36人、9校 中学生5人、3校	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	<外国語指導助手の配置>例年どおり実施。 <日本語指導協力者派遣>日本語指導を必要とする児童生徒が年度の途中で4人増えた。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	・外国語指導助手配置 小学校220日 中学校360日 ・日本語指導協力者派遣 小学生37人、8校 中学生12人、4校	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,349	0	0	0		11,349
		H23決算	14,255	0	2,893	0		11,362
		H24決算	14,218	0	0	0		14,218
H25決算	14,103	0	0	0	14,103			
H26予算	14,725	0	0	0	14,725			

36	文化教育推進事業	担当課	指導室、教育センター
事業内容	児童生徒による文化活動や音楽鑑賞の文化行事に対して助成を行い、児童生徒の豊かな情操や感性を培う体験の場を提供します。		
計画目標	・小学校演劇鑑賞会 参加児童897人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童934人(5年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒200人 保護者等参観者200人 ・中学校音楽会 参加生徒280人 保護者等参観者600人 ・中学校美術展 ・理科展 ・読書感想文コンクール ・校内書道コンクール		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	・小学校演劇鑑賞会 参加児童944人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童906人(5年生)、947人(6年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒約100人 保護者等参観者約200人 ・中学校音楽会 参加生徒約300人 保護者等参観者約600人 ・中学校美術展 ・中学校読書感想文コンクール ・中学校校内書道コンクール	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	<p>○変更点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校音楽鑑賞会については、これまでどおり5年生で実施できるようにするため、25年度のみ5・6年生で実施した。 ・文化行事に対する助成は、文化的な体験を充実させ、児童生徒の豊かな情操や感性を培うことに貢献している。 <p>○理科展、読書感想文コンクール、校内書道コンクール・・・長期休業中の課題として、生徒が積極的に取り組んでいます。</p> <p>○美術展・・・授業で取り組んだ作品をたくさんの人に見てもらうことができました。</p>							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校演劇鑑賞会 参加児童910人(6年生) ・小学校音楽鑑賞会 参加児童約900人(5年生) ・中学校演劇発表会 参加生徒約100人 保護者等参観者約200人 ・中学校音楽会 参加生徒約300人 保護者等参観者約600人 ・中学校美術展 ・中学校理科展 ・中学校読書感想文コンクール ・中学校校内書道コンクール 	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,393	0	0	0	3,393	
		H23決算	3,440	0	0	0	3,440	
		H24決算	3,640	0	0	0	3,640	
		H25決算	3,688	0	0	0	3,688	
H26予算	3,765	0	0	0	3,765			

37	情報教育推進事業	担当課	指導室					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進 ・小学校児童指導用コンピュータの配置 ・中学校生徒指導用コンピュータの配置 ・学校図書館教育用コンピュータの配置 ・小学校教職員用コンピュータの配置 ・中学校教職員用コンピュータの配置 							
計画目標	<p><教育用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校PC室 各41台 (大山小14台) ・石田小学校図書館用PC PC1台 ・中学校PC室 各42台 (伊中第2PC室41台) ・小中学校可動用PC 各3台導入(大山小1台) <p><教職員用></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校329台 中学校183台 							
A(計画どおり進捗した) B(やや遅れている) C(ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進 ・小学校児童指導用コンピュータの配置 ・中学校生徒指導用コンピュータの配置 ・学校図書館教育用コンピュータの配置 ・小学校教職員用コンピュータの配置 ・中学校教職員用コンピュータの配置 ・校務支援システムに係る研修会の実施 	事業評価	B・Cの理由					
	A							
H25. 報告事項	<p>○<教育用>全小中学校全台の入替え。小学校にタブレット端末の導入。</p> <p>○<教職員用>機器の入替え(小学校120台 中学校60台)、校務支援システムの運用開始。</p> <p>○情報教育推進のために、今後もより良い環境整備を検討していきたい。</p>							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○<教育用>入替えはなし。 ○<教職員用>機器の入替え(小学校60台、中学校30台) ○校務支援システムに係る研修会の実施 	予算額・財源内訳(単位:千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	125,942	0	0	0	125,942	○
		H23決算	110,916	0	0	0	110,916	○
		H24決算	88,161	0	0	0	88,161	○
		H25決算	80,390	0	0	0	80,390	○
H26予算	81,586	0	0	0	81,586	○		

38	創意ある学校づくり推進事業	担当課	指導室																																		
事業内容	各学校における、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開（「開かれた学校」や「総合的な学習の時間」の取組）と、学校・家庭・地域社会が連携協力（「地域連絡会」の運営）する中で地域を挙げて子どもを育む教育を充実します。																																				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の参加者数 年間延べ約4,500人 ・「学校へ行こう週間」を年度内に1～2週間実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 																																				
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																					
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」等における地域住民の指導協力者数（年間延べ約9,000人） ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 	事業評価	B・Cの理由																																		
H25. 報告事項	<p>○各学校において、多く地域の方に御協力をいただき、様々なふれあい体験活動等を実施した。</p> <p>○指導協力者、「学校へ行こう週間」など、地域の方々が学校に協力しやすい日程の検討については引き続き行っていく。</p> <p>○様々な広報を使い各校での活動をアピールしていく必要がある。</p>																																				
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や登下校の見守り、学校環境整備等における地域住民の指導協力者数（年間延べ約9,000人） ・「学校へ行こう週間」を年度内に1週間程度実施 ・「学校地域連絡会」を開催し、地域の方々の意見を学校経営に反映 	予算額・財源内訳(単位：千円)																																			
	年度	総事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要 施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>H22決算</td> <td>4,362</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,362</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>4,341</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,341</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>4,890</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,890</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>4,322</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,322</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>4,394</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,394</td> </tr> </table>	事業費内訳				重要 施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	4,362	0	0	4,362	H23決算	4,341	0	0	4,341	H24決算	4,890	0	0	4,890	H25決算	4,322	0	0	4,322	H26予算	4,394	0	0	4,394
事業費内訳				重要 施策																																	
国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																		
H22決算	4,362	0	0	4,362																																	
H23決算	4,341	0	0	4,341																																	
H24決算	4,890	0	0	4,890																																	
H25決算	4,322	0	0	4,322																																	
H26予算	4,394	0	0	4,394																																	

39	部活動推進事業	担当課	指導室																																		
事業内容	中学校における部活動の振興を図るため、指導協力者を各中学校に派遣するとともに、生徒の各種大会への参加及び大会の運営について中学校体育連盟に対し助成します。																																				
計画目標	継続実施																																				
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																					
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 4中学校35名の予算で実施（部活動指導協力者16名、部活動指導協力者災害補償保険料35名） ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成 	事業評価	B・Cの理由																																		
H25. 報告事項	部活動指導協力者として専門的な技術を有する者を31名派遣することができた。また、関東・全国大会へは陸上競技部、水泳部、ソフトテニス部、バスケットボール部を派遣することができた。																																				
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な技術を有する者を部活動指導協力者として派遣し、中学校部活動の活性化を図る。 4中学校35名の予算で実施（部活動指導協力者16名、部活動指導協力者災害補償保険料35名） ・全国関東大会生徒派遣旅費等助成 ・伊勢原市中学校体育大会運営助成 	予算額・財源内訳(単位：千円)																																			
	年度	総事業費	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要 施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>H22決算</td> <td>7,415</td> <td>0</td> <td>810</td> <td>6,605</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>8,017</td> <td>0</td> <td>730</td> <td>7,287</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>6,230</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,230</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>6,831</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,831</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>6,812</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,812</td> </tr> </table>	事業費内訳				重要 施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	7,415	0	810	6,605	H23決算	8,017	0	730	7,287	H24決算	6,230	0	0	6,230	H25決算	6,831	0	0	6,831	H26予算	6,812	0	0	6,812
事業費内訳				重要 施策																																	
国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																		
H22決算	7,415	0	810	6,605																																	
H23決算	8,017	0	730	7,287																																	
H24決算	6,230	0	0	6,230																																	
H25決算	6,831	0	0	6,831																																	
H26予算	6,812	0	0	6,812																																	

40	各学校との連携	担当課	福祉総務課																																									
事業内容	「総合的な学習の時間」等を活用した、中学校や高等学校等での福祉のシニア体験の授業や、学習活動の一環として行われている高校生の独居老人訪問等に対する情報提供等を通じて、市内各学校の多様な学習活動を支援します。																																											
計画目標	継続実施																																											
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																												
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタントシニア(高齢者・妊婦疑似体験セット)を希望する学校や団体等に貸し出し、疑似体験してもらうことによりバリアフリーに対する理解を促進した。(H25貸出実績:3団体1個人) ・小・中学校の児童生徒を対象とした、社会における連帯感と思いやり、助け合いの心を基調とした福祉意識の高揚を図ることを目的として福祉作文の募集を行った。 	事業評価	B・Cの理由																																									
H25. 報告事項	○例年どおり実施。 ○課題 ・インスタントシニアが購入後10年以上経過(平成14年購入)しており、機具の破損や紛失等のため買い換えが必要になってきている。																																											
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタントシニア(高齢者・妊婦疑似体験セット)を希望する学校や団体等に貸し出し、疑似体験してもらうことによりバリアフリーに対する理解を深める。 ・小・中学校の児童生徒を対象に、社会における連帯感と思いやり、助け合いの心を基調とした福祉意識の高揚を図ることを目的とする福祉作文の募集事業を行う。 	予算額・財源内訳(単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0	H23決算	0	0	0	0	0	H24決算	0	0	0	0	0	H25決算	0	0	0	0	0	H26予算	0	0	0	0	0
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																							
H22決算	0	0	0	0	0																																							
H23決算	0	0	0	0	0																																							
H24決算	0	0	0	0	0																																							
H25決算	0	0	0	0	0																																							
H26予算	0	0	0	0	0																																							

41	伊勢原市子ども読書活動推進事業	担当課	図書館・子ども科学館																																									
事業内容	伊勢原市における子ども読書活動の推進に向けて、具体的な施策事業を市民協働により実践することを通じて、子ども読書活動に関する法律に基づく計画を推進する。																																											
計画目標	定期的に時代や社会情勢に対応した計画の見直しを実施																																											
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																												
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会127回 ・ボランティア活動場の提供 ・親子向け事業の実施 ・ヤングアダルト・児童文学講座の開催 ・特集架の設置(児童・YA向け読書普及) 	事業評価	B・Cの理由																																									
H25. 報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館開館当初から読み聞かせボランティアとして活動している「よみきかせボランティアグループ おはなしばる〜ん」が、その活動を称えられ文部科学大臣賞を受賞した。 ・図書館主催事業に、ボランティアの協力を積極的に取り入れた。 ・高校生ボランティアに事業の企画から参加をしてもらった。 ・親子で参加の出来る事業を多く実施した。 																																											
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働によるおはなし会の開催 ・ボランティア活動の場の提供 ・親子向け事業の実施 ・ヤングアダルト・児童向け特集架の設置 ・ヤングアダルト向け事業の実施 ・特集架の設置(児童・YA向け読書普及) 	予算額・財源内訳(単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>88</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>90</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>95</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0	H23決算	0	0	0	0	0	H24決算	88	0	0	0	88	H25決算	90	0	0	0	90	H26予算	95	0	0	0	95
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																						
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																							
H22決算	0	0	0	0	0																																							
H23決算	0	0	0	0	0																																							
H24決算	88	0	0	0	88																																							
H25決算	90	0	0	0	90																																							
H26予算	95	0	0	0	95																																							

42	特別支援教育推進事業	担当課	教育センター
事業内容	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・市就学指導委員会の開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置 		
計画目標	個に応じた特別支援教育の充実に向けて継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や通学援助等を行いました。 ・市就学指導委員会4回開催 ・伊勢原養護学校通学援助の実施 ・特別支援学級の設置	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○通学援助については、9月より伊勢原養護学校に通学用バスが配備されたことにより、補助事業を廃止しました。 ○市就学指導委員会では、インクルーシブな教育の保障のため、本人のニーズを時間をかけて検討するケースが増えました。						
H26. 事業内容	支援を必要とする児童生徒が、それぞれの状況に適した教育を受けられるよう適切な就学指導や就学支援等を行います。 ・市就学指導委員会5回開催 ・就学支援(医療的ケア、移動のための備品等設置) ・特別支援学級の設置	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	1,819	0	0	0	1,819
		H23決算	1,749	0	0	0	1,749
		H24決算	2,499	0	0	0	2,499
H25決算	1,073	0	0	0	1,073		
H26予算	1,764	0	0	0	1,764		

43	特別支援教育環境整備事業	担当課	教育センター				
事業内容	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。						
計画目標	個に応じた特別支援教育環境整備の充実に向けて継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置しました。 ・就学者 小:147人 中:56人 ・学級数 小:33学級 中:11学級 ・介助員 小:14人/日 中:4人/日	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○学期毎に行う介助員対象の研修会を通して、介助員の資質向上に努めました。 ○支援を必要とする児童生徒の増加、また、校外学習等様々な学習形態に対応するためには、人の配置と時間にゆとりがない状況です。保護者、学校から配置充実の要望がありました。						
H26. 事業内容	支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援学級介助員を配置します。 ・就学者 小:162人 中:53人 ・学級数 小:36学級 中:12学級 ・介助員 小:15人/日 中:6人/日	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	19,483	0	0	0	19,483
		H23決算	22,977	0	0	0	22,977
		H24決算	23,113	0	0	0	23,113
H25決算	23,261	0	0	0	23,261		
H26予算	27,227	0	0	0	27,227		

44	特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課				
事業内容	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、子どもの学習活動にかかる費用の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減並びに障害児教育の推進を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○H25年度より大山小学校にも特別支援学級が設置されたことに伴い、市内全小中学校に支給対象児童生徒が在籍することとなりました。						
H26. 事業内容	引き続き、特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済状況に応じて、学用品費等必要な経費の一部について援助を行います。	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	2,303	1,151	0	0	1,152
		H23決算	2,180	779	0	0	1,401
		H24決算	2,252	806	0	0	1,446
H25決算	2,529	919	0	0	1,610		
H26予算	2,876	972	0	0	1,904		

45	就学相談	担当課	教育センター																																														
事業内容	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。																																																
計画目標	就学相談の充実に向けて継続実施																																																
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																	
H25. 取組結果	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行いました。 新就学時相談 ・特別支援学校入学 ・特別支援学級入学 ・通常の学級入学	事業評価	B・Cの理由																																														
H25. 報告事項	○関係機関と連携し、児童生徒に関するより多くの情報を得ることにより、児童生徒にとって望ましい就学につながるように努めました。																																																
H26. 事業内容	支援を必要とする児童生徒の就学及び進学に関わる相談を、随時、保護者と行います。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25決算	0	0	0	0	0		H26予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23決算	0	0	0	0	0																																												
H24決算	0	0	0	0	0																																												
H25決算	0	0	0	0	0																																												
H26予算	0	0	0	0	0																																												

46	療育相談	担当課	子ども家庭相談室																																														
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。																																																
計画目標	相談支援件数 2, 200件																																																
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																	
H25. 取組結果	継続実施 相談支援件数 1, 973件	事業評価	B・Cの理由																																														
H25. 報告事項	児童発達支援事業などの療育機関の定員枠を超えている現状から、療育相談の結果、療育機関の利用が児の健やかな発達のために有用であると判断したとしても、受けてもらうことが困難という状況が年々生じている。子ども家庭相談室の療育相談の枠でフォローするなど工夫しながら対応しているため、相談支援件数が増加している。																																																
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>10,106</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,106</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>10,169</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,169</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>10,310</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,310</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>10,087</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,087</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>10,749</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,749</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○	H23決算	10,169	0	0	0	10,169	○	H24決算	10,310	0	0	0	10,310	○	H25決算	10,087	0	0	0	10,087	○	H26予算	10,749	0	0	0	10,749	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○																																											
H23決算	10,169	0	0	0	10,169	○																																											
H24決算	10,310	0	0	0	10,310	○																																											
H25決算	10,087	0	0	0	10,087	○																																											
H26予算	10,749	0	0	0	10,749																																												

47	教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター																																														
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談(学校不適応・家庭教育等)を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。																																																
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施																																																
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																	
H25. 取組結果	・教育センター教育相談(教育相談員3人/日)来所相談、電話相談、訪問相談、巡回相談等を実施 ・学校訪問教育相談研修会7回 支援教育研修会7回 ・学生ボランティア派遣34人 ・小中学校スクールカウンセラーによる教育相談	事業評価	B・Cの理由																																														
H25. 報告事項	○相談員の人数が削減された中で、最大限の対応を行ってまいりました。 ○児童生徒に関する問題が多様化し、相談件数も増加している中で、現状の体制では相談ニーズに応じきれない現状です。																																																
H26. 事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談(学校不適応・家庭教育等)を、本人や家族、教職員などから受け付けます。また、学校における教育相談の充実を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>5,530</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,530</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>5,224</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,224</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>5,104</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,104</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>5,463</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,463</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>10,047</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,047</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	5,530	0	0	0	5,530	○	H23決算	5,224	0	0	0	5,224	○	H24決算	5,104	0	0	0	5,104	○	H25決算	5,463	0	0	0	5,463	○	H26予算	10,047	0	0	0	10,047	○
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	5,530	0	0	0	5,530	○																																											
H23決算	5,224	0	0	0	5,224	○																																											
H24決算	5,104	0	0	0	5,104	○																																											
H25決算	5,463	0	0	0	5,463	○																																											
H26予算	10,047	0	0	0	10,047	○																																											

48	適応指導教室事業	担当課	教育センター				
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。						
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。 ・適応指導教室職員4人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○適応指導教室職員と教育相談員との会議を定期的に行い、情報の共有と共通認識に努め、指導の方向性の確認を行いました。						
H26. 事業内容	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。 ・適応指導教室職員4人	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	3,814	0	0	0	3,814
		H23決算	3,982	0	0	0	3,982
		H24決算	3,868	0	0	0	3,868
H25決算	3,892	0	0	0	3,892		
H26予算	4,020	0	0	0	4,020		

49	スクールカウンセラーの配置	担当課	教育センター				
事業内容	児童生徒のカウンセリング及び教職員・保護者への助言・援助を行います。						
計画目標	小学校へのスクールカウンセラー配置による充実・継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	小中学校スクールカウンセラーによる児童生徒のカウンセリング及び保護者・教職員への助言・援助を行いました。 ・市費小学校スクールカウンセラー10校 ・県費中学校スクールカウンセラー4校	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○他校に配置しているスクールカウンセラーとともに緊急時の対応を行いました。 ○小学校においてもスクールカウンセラーの存在が浸透し、相談機会がこれまでより増えています。						
H26. 事業内容	小中学校スクールカウンセラーによる児童生徒のカウンセリング及び保護者・教職員への助言・援助を行います。 ・市費小学校スクールカウンセラー10校 ・県費中学校スクールカウンセラー4校	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	320	0	0	0	320
		H23決算	1,608	0	0	0	1,608
		H24決算	1,802	0	0	0	1,802
H25決算	1,802	0	0	0	1,802		
H26予算	1,802	0	0	0	1,802		

50	(再) 子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館
事業内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。 ・展示事業・プラネタリウム事業・科学教育普及事業		
計画目標	・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・青少年創意くふう展の開催回数 1回		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	・科学教育普及事業 799事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究相談会の開催日数 12日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 ・ロボットコンテスト 1回	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・開館25周年記念のイベントとして、企業や大学と連携した科学館フェスティバルを5月のゴールデンウィークに開催した。 ・夏休みのイベントとして、プラネタリウムで投影している『ダイナソートラベラーズ』に合わせて『恐竜フェア』を開催し、多くの事業を展開した。 ・企業や大学、市内中学校と連携して、新たにロボットコンテストを開催した。 								
H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み自由研究相談室の開催日数 36日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 (H25年度と比較し、開催期間1週間延長) ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 ・東海大学との地域連携事業 4回 ・理数学習支援センター後援ロボット教室 1回 ・ロボットコンテスト 1回 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳					
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源	
		H22決算	1,196	0	0	0		1,196	
		H23決算	1,228	0	0	0		1,228	
		H24決算	983	0	0	0		983	
H25決算	967	0	0	0	967				
H26予算	1,050	0	0	0	1,050				

2-③思春期の健全な成長のための環境整備

<施策の対応方針>

- 思春期で抱える悩みへの相談事業に取り組んでいきます。
- 子どもにとって悪影響が懸念される情報やメディア等の扱いについて、関係業界への自主的な措置を働きかけていきます。
- 子どもの非行防止に取り組んでいきます。
- 学校や関係機関と連携しながら、思春期世代の健全育成に取り組めます。

51	街頭指導活動の実施	担当課	青少年課				
事業内容	青少年の非行を未然に防止するため、街頭において、喫煙や不良交友などの問題行動を発見し、助言・指導を行います。						
計画目標	街頭指導回数 210回						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	街頭指導回数 210回 指導件数 57件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	予算組替えを実施。 H24まで 青少年相談室運営費 ①青少年相談 ②子ども・若者育成支援強調月間 ③非行防止活動 H25から「非行防止活動推進事業費」を新設						
H26. 事業内容	○継続実施	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	4,260	0	264	0	3,996
		H23決算	4,031	0	300	0	3,731
		H24決算	4,048	0	245	0	3,803
		H25決算	1,694	0	188	0	1,506
H26予算	1,788	0	214	0	1,574		
52	啓発活動の推進	担当課	青少年課				
事業内容	環境浄化活動の実施、未成年者喫煙防止活動の実施、薬物乱用防止、非行防止対策シリーズの配布、青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進等						
計画目標	継続実施 ※平成22年度より名称変更 「青少年の非行・被害防止強調月間」						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	非行被害防止街頭啓発キャンペーン 7月 3日(水) 伊勢原駅 7月10日(水) 愛甲石田駅	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○伊勢原駅前では、にわか雨に見舞われたため、従事協力者に苦勞をかけた。						
H26. 事業内容	非行被害防止街頭啓発キャンペーン 7月 3日(木) 伊勢原駅 7月10日(木) 愛甲石田駅 成人式実行委員に協力を依頼し、青少年の参加も行う。	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
		H25決算	0	0	0	0	0
H26予算	0	0	0	0	0		

53	環境浄化活動の実施	担当課	青少年課																																														
事業内容	■有害図書等社会環境実態調査：有害図書類陳列調査 ■カラオケボックス等の実態調査：青少年がカラオケボックスを利用する場合、飲酒・喫煙行為をさせないよう店の管理者に協力を要請 ■有害看板の撤去：青少年指導員と協力して、青少年にとって有害な看板を含む違法看板を撤去する ■その他：看板、市広報紙による啓発																																																
計画目標	継続実施																																																
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																																	
H25. 取組結果	例年どおり、社会環境実態調査を実施。	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	カラオケ店での環境改善など、県担当に要望を行った。																																																
H26. 事業内容	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25決算	0	0	0	0	0		H26予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23決算	0	0	0	0	0																																												
H24決算	0	0	0	0	0																																												
H25決算	0	0	0	0	0																																												
H26予算	0	0	0	0	0																																												

54	未成年者喫煙防止活動の実施	担当課	青少年課																																														
事業内容	■パンフレット等の配布：市内小・中・高校生にタバコの害に関するちらしを配布 ■その他：看板、市広報紙等による啓発																																																
計画目標	継続実施																																																
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																																	
H25. 取組結果	市内小・中学生、高校生にタバコの害に関するちらし9,208部を配付 子ども・若者育成支援強調月間事業にて、啓発活動を実施。	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	○例年どおり実施できた。																																																
H26. 事業内容	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25決算	0	0	0	0	0		H26予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23決算	0	0	0	0	0																																												
H24決算	0	0	0	0	0																																												
H25決算	0	0	0	0	0																																												
H26予算	0	0	0	0	0																																												

55	薬物乱用防止の推進	担当課	青少年課																																														
事業内容	薬物乱用防止パンフレットを作成し、市内中学生に配布するとともに、薬物乱用防止のビデオを学校に貸し出し、有害性を訴え、薬物の乱用を防止します。また、各種薬物乱用防止キャンペーンへの協力を行います。																																																
計画目標	継続実施																																																
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																																	
H25. 取組結果	薬物被害の低年齢化も考慮し、ちらしの配付範囲を小学生にも拡大。 市内小・中学生に啓発ちらし5,254部を配布し、薬物乱用防止や有害性をPR。 「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンへ参加	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	小学校高学年にも、普及活動を広げた。																																																
H26. 事業内容	予算額・財源内訳(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25決算	0	0	0	0	0		H26予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23決算	0	0	0	0	0																																												
H24決算	0	0	0	0	0																																												
H25決算	0	0	0	0	0																																												
H26予算	0	0	0	0	0																																												

56	非行防止の啓発	担当課	青少年課				
事業内容	未成年の喫煙、家出、薬物乱用防止などのちらしを市各種行事や会議等に配布し、啓発を進めます。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	未成年の喫煙、薬物乱用などの防止を呼びかけるちらしを市各種行事や会議等で配布	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	No.54、No.55と同様						
H26. 事業内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25決算	0	0	0	0	0		
H26予算	0	0	0	0	0		

57	青少年の非行防止に取り組む強調月間の推進	担当課	青少年課				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明るい家庭づくりパネル展：非行防止、社会環境浄化、家庭教育等啓発のパネルを展示 ■ 非行被害防止街頭啓発キャンペーン：伊勢原駅等において関係諸団体等が非行防止や薬物乱用防止を呼びかける。 ■ その他：市広報、ちらし、啓発物品による啓発 						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	明るい家庭づくりパネル展を実施 非行被害防止街頭啓発キャンペーンを実施	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○非行被害防止街頭啓発キャンペーンは、天候に左右される。今年度風雨により従事協力者に苦勞をかけた。 ○風雨にも関わらず、多くの協力者の従事をいただいた。						
H26. 事業内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25決算	0	0	0	0	0		
H26予算	0	0	0	0	0		

58	ヤングテレホン相談事業	担当課	青少年課				
事業内容	対人関係や身体・健康・性についてなど、子ども達の様々な悩みに対する電話相談を実施します。						
計画目標	相談受件数 70件						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	メール相談を開設 従来の青少年相談と統合 ・相談件数 206件	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	メール相談を開設 予算組替えを実施。 H24まで ヤングテレホン相談事業費	H25から	子ども・若者相談事業費 (青少年相談と統合)				
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	2,059	0	0	0	2,059
		H23決算	2,046	0	0	0	2,046
		H24決算	2,054	0	0	0	2,054
H25決算	4,268	0	0	0	4,281		
H26予算	4,288	0	0	0	4,288		

59	青少年相談室の相談事業	担当課	青少年課																																																				
事業内容	学校生活や不登校、家庭関係、不良行為等、子どもたちが抱える様々な悩みや問題に対処し、効果的に解決していくため、青少年相談室が相談事業を行い、子どもたちの健全育成を図ります。																																																						
計画目標	相談受件数 50件																																																						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																							
H25. 取組結果	メール相談を開設 従来のヤングテレホンと統合 ・相談件数 206件	事業評価	B・Cの理由																																																				
		A																																																					
H25. 報告事項	メール相談を開設 予算組替えを実施。 H24まで 青少年相談室運営費 H25から 子ども・若者相談事業費(ヤングテレホンを統合)																																																						
H26. 事業内容	継続実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">予算額・財源内訳(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>4,260</td> <td>0</td> <td>264</td> <td>0</td> <td>3,996</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>4,031</td> <td>0</td> <td>300</td> <td>0</td> <td>3,731</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>4,048</td> <td>0</td> <td>245</td> <td>0</td> <td>3,803</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>4,268</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,281</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>4,288</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,288</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		予算額・財源内訳(単位:千円)						年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	4,260	0	264	0	3,996		H23決算	4,031	0	300	0	3,731		H24決算	4,048	0	245	0	3,803		H25決算	4,268	0	0	0	4,281		H26予算	4,288	0	0	0	4,288	
予算額・財源内訳(単位:千円)																																																							
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																																	
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																																		
H22決算	4,260	0	264	0	3,996																																																		
H23決算	4,031	0	300	0	3,731																																																		
H24決算	4,048	0	245	0	3,803																																																		
H25決算	4,268	0	0	0	4,281																																																		
H26予算	4,288	0	0	0	4,288																																																		

60	思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課																																																				
事業内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。																																																						
計画目標	中学校4校 各1学年																																																						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																							
H25. 取組結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由																																																				
		A																																																					
H25. 報告事項	○6/11 山王中学校 222名 10/3,4 伊勢原中学校 288名 11/12 成瀬中学校 204名 12/5 中沢中学校 166名 骨密度測定及び栄養教育を中学2年生880名に実施した。 ○あわせて食生活に関するアンケート調査を実施し、栄養指導のための資料として学校に報告した。																																																						
H26. 事業内容	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">予算額・財源内訳(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>48</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>48</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>133</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>91</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>91</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>143</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>143</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>154</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>154</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		予算額・財源内訳(単位:千円)						年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	48	0	0	0	48		H23決算	133	0	0	0	133		H24決算	91	0	0	0	91		H25決算	143	0	0	0	143		H26予算	154	0	0	0	154	
予算額・財源内訳(単位:千円)																																																							
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																																	
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																																		
H22決算	48	0	0	0	48																																																		
H23決算	133	0	0	0	133																																																		
H24決算	91	0	0	0	91																																																		
H25決算	143	0	0	0	143																																																		
H26予算	154	0	0	0	154																																																		

61	思春期食育事業	担当課	健康管理課																																																				
事業内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。																																																						
計画目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校																																																						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)																																																							
H25. 取組結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由																																																				
		—	高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。																																																				
H25. 報告事項	—																																																						
H26. 事業内容	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。骨密度測定の結果説明を効率化し、待ち時間の短縮を図り、さらに多くの方に参加してもらう流れを作ります。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">予算額・財源内訳(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>219</td> <td>109</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>196</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>98</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>91</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>91</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>92</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>76</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>76</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		予算額・財源内訳(単位:千円)						年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	219	109	0	0	110		H23決算	196	98	0	0	98		H24決算	91	0	0	0	91		H25決算	92	0	0	0	92		H26予算	76	0	0	0	76	
予算額・財源内訳(単位:千円)																																																							
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																																	
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																																		
H22決算	219	109	0	0	110																																																		
H23決算	196	98	0	0	98																																																		
H24決算	91	0	0	0	91																																																		
H25決算	92	0	0	0	92																																																		
H26予算	76	0	0	0	76																																																		

62	(再) 中学校給食の導入事業	担当課	学校教育課					
事業内容	中学校給食の在り方や手法について検討を進め、導入を目指します。							
計画目標	給食実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	中学校給食導入に向けた研究を行うとともに、スクールランチを継続実施しました。	事業評価	B・Cの理由					
		—	スクールランチの利用は定着しています。中学校給食導入研究も継続しています。					
H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールランチ発注業務の実施 ・保護者向けスクールランチちらしを作成、全中学校で配布 ・中学校給食手法研究 							
H26. 事業 内容	中学校給食導入に向けた研究及びスクールランチを継続実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,199	0	0	0	1,199	○
		H23決算	1,717	0	0	0	1,717	○
		H24決算	2,027	0	0	0	2,027	
H25決算	1,958	0	0	0	1,958			
H26予算	2,070	0	0	0	2,070			

2-④子どもの健全育成の支援

<施策の対応方針>

- 青少年センターや公民館等、子どもたちの活動の場の活性化を図ります。
- 次代を担う子どもの自立心と創造性を培い、「生きる力」を身につける青少年健全育成活動や生涯学習活動を推進します。
- 青少年広場や児童遊園の維持管理を推進し、子どもたちの遊び場の確保に努めます。
- 不登校や引きこもり等を防止し、その解決を図るため、子どもや家庭に対する相談・指導体制を充実します。
- 放課後における児童の居場所づくりや市民ニーズに対応した放課後児童健全育成事業を充実します。
- 図書館や子ども科学館など、子どもが自発的に学び、体験できる場の充実に努めます。

63	青少年センターの管理運営	担当課	青少年課				
事業内容	青少年の社会参加、文化、スポーツ等の諸活動及び青少年育成団体の拠点とします。						
計画目標	市内中心部の青少年学習施設として有効活用						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	○従来どおり、管理運営 利用者 71,301人	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○冷房故障により、空調設備の更新を行った。						
H26. 事業内容	従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	17,781	0	0	243	17,538
		H23決算	16,913	0	0	220	16,693
		H24決算	16,873	0	0	214	16,659
H25決算	16,134	0	0	221	15,913		
H26予算	22,509	0	0	226	22,283		

64	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課				
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。						
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理の継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	従来どおり、管理運営	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	○大田青少年広場に防球ネットを設置するなど、環境整備を行った。						
H26. 事業内容	従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233
		H23決算	8,300	0	0	0	8,300
		H24決算	8,293	0	0	0	8,293
H25決算	8,185	0	0	0	8,245		
H26予算	8,384	0	0	0	8,384		

65	日向ふれあい学習センターの管理運営	担当課	青少年課
事業内容	市民が自然の中での体験や人との交流を通じて、豊かな人間性や協調性を育むふれあい活動の拠点として、日向ふれあい学習センターの利活用の促進を図ります。		
計画目標	指定管理者制度の導入により、利用者の利便性向上や満足度の向上		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	指定管理者(伊勢原市森林組合)が、管理運営を行った。 利用者：4,778人	事業評価	B・Cの理由
		A	
H25. 報告事項	○施設の耐震補強等、利用者の安全確保が不十分である。また、施設老朽化も懸念される。		

H26. 事業 内容	従来どおり、指定管理者が運営	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳			
				国庫負担金	県支出金	その他	
H22決算	10,550	0	0	0	10,550		
H23決算	10,572	0	0	0	10,572		
H24決算	10,704	0	0	0	10,704		
H25決算	10,730	0	0	0	10,730		
H26予算	10,985	0	0	0	10,985		

66	児童館の管理運営	担当課	青少年課
事業内容	児童に健全な遊びや活動の場を提供するとともに、地域における青少年育成活動の拠点とします。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童に健全な遊びや活動の場を提供 地域における青少年育成活動の拠点として、児童に健全な遊びを指導、利用者の拡大 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	指定管理者(地元自治会)が、児童館13館をそれぞれ管理運営を行った。 利用者 43,693人	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○耐震基準を満たす館が3館にとどまっており、施設老朽化も併せ、施設管理が課題である。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	従来どおり、指定管理者が運営	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳			
				国庫負担金	県支出金	その他	
H22決算	15,066	0	0	0	15,066		
H23決算	11,913	0	0	0	11,913		
H24決算	13,016	0	0	0	13,016		
H25決算	13,000	0	0	0	13,797		
H26予算	14,036	0	0	0	14,036		

67	青少年健全育成事業	担当課	青少年課
事業内容	青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域など子どもを取り巻くあらゆる立場の人々が連携を深め、地域社会の健全化と指導力の向上に努めるため、青少年健全育成組織の育成を図るとともに、地域における育成活動を積極的に推進します。		
計画目標	青少年健全育成団体の育成・支援を推進		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	子ども・若者計画策定着手。 予算組替えを実施。 ・少年地域体験学習を青少年活動推進事業へ移管 ・子ども・若者計画策定事業を新設	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○子ども会育成会等、地域の担い手不足が深刻な問題になりつつある。 ○当該団体が、地域活動での重要な役割を果たしている。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳			
				国庫負担金	県支出金	その他	
H22決算	9,053	875	312	0	7,866		
H23決算	8,516	875	280	0	7,361		
H24決算	8,560	0	236	0	8,324		
H25決算	9,395	0	161	0	9,234		
H26予算	9,792	0	138	0	9,654		

68	青少年活動推進事業	担当課	青少年課
事業内容	学校や年齢の枠を超えた友達づくりを図るとともに、青少年自らの幅広い知識の習得と自己形成のための学習活動を推進します。		
計画目標	地域での青少年のふれあい・体験交流活動の推進 12事業 3,300人		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	放課後子ども教室を開設。 予算組替えを実施 ・少年地域体験学習を統合 ・子ども・若者育成支援強調月間を統合 ・放課後子ども教室を新設	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	○放課後子ども教室を、地域住民の協力の下で伊勢原小学校区の開設し、参加者アンケートでは好評の評価を受けた。							
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	416	0	139	0		277
		H23決算	432	0	10	0		422
		H24決算	391	0	8	0		383
H25決算	1,619	0	397	0	1,222			
H26予算	1,302	0	275	0	1,027			

69	公民館事業	担当課	社会教育課
事業内容	各公民館で、青少年向けの公民館事業を実施します。		
計画目標	青少年対象事業 7館 20講座		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	市内7公民館で41講座を実施 ・中央公民館 9講座(307名参加) ・大山公民館 5講座(261名参加) ・高部屋公民館 4講座(195名参加) ・比々多公民館 6講座(615名参加) ・成瀬公民館 7講座(168名参加) ・大田公民館 3講座(113名参加) ・伊勢原南公民館 6講座(183名参加)	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	○変更点等 ◆伊勢原南公民館の講座であるにも関わらず、どの講座も人気が高いため桜台小・竹園小の児童が参加できていない状況があった。平成25年度は広報いせはらによる全市的な周知ではなく、桜台小・竹園小の全校児童へチラシを配布して周知した。 ○課題 ◆公民館講座については、基本的には市広報等を通じて、全市的に参加者を募集しているが、青少年(児童)向けの講座に関しては、子ども会加入率が減少しているという現状を踏まえ、地区子ども会活動の一助となるため、少しでも地域の子どものみ限定の講座を企画する必要があるのではないか		
-----------	--	--	--

H26. 事業内容	市内7公民館で38講座を実施予定 ・中央公民館 9講座 ・大山公民館 3講座 ・高部屋公民館 4講座 ・比々多公民館 6講座 ・成瀬公民館 7講座 ・大田公民館 3講座 ・伊勢原南公民館 6講座	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	69	0	0	0		69
		H23決算	99	0	0	0		99
		H24決算	98	0	0	0		98
H25決算	101	0	0	0	101			
H26予算	106	0	0	0	106			

70	放課後児童健全育成事業(児童コミュニティクラブ)	担当課	子育て支援課
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。		
計画目標	・市内全小学校区(10校)で実施 ・計14クラブ、定員720人、入所児童数720人 ・開所時間の延長		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。 ・市内全小学校区(10校)で実施。 ・計13クラブ 定員670人 平均入所児童数 612人 ・開所時間 放課後～午後6時30分 土曜日・長期休業日等については、 午前8時～午後6時30分 ・民間事業所(2事業所)に補助金交付を実施	事業評価	B・Cの理由
		—	14クラブの開設が目標にあるが、定員数に対し、入所児童数が満たず、新たなクラブ開設には至らないため。

H25. 報告事項	・新規クラブの開設ではなく、入所予定児童数の多いクラブについて、学校の協力により別の教室の利用をすることができた。
-----------	---

H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現行制度のまま継続実施。 ・なお、子ども・子育て支援法に伴う児童福祉法の改正により平成27年度に向けて、ニーズ調査の結果等を踏まえ、省令に基づき、設備及び運営基準を条例で定めるとともに、伊勢原市児童コミュニティクラブに関する条例及び施行規則について整理する。また、民間事業所への補助基準の改定を検討し、進めていく。 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	101,184	0	30,088	28,759		42,337
		H23決算	101,107	0	28,915	26,341		45,851
		H24決算	97,501	0	26,018	27,218		44,265
H25決算	95,730	0	24,773	26,084	44,873			
H26予算	102,577	0	24,290	26,749	51,538			

71	図書館児童読み聞かせサービス事業	担当課	図書館・子ども科学館
事業内容	活字離れが進む中で、子どもの読書活動の動機づけを行い、また、子どもと保護者、読み手とのあたたかい交流を図るため、職員や読み聞かせボランティア団体によるおはなし会を開催します。		
計画目標	おはなし会 150回		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会127回 ・児童文学関係事業実施 ・ボランティア活動の場の提供 ・親子向け事業の実施 ・ヤングアダルト・児童文学講座の開催 	事業評価	B・Cの理由
		B	

H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市子ども読書活動推進指針(平成25年4月～30年3月)4月に策定した。 ・図書館開館25周年記念として、読書記録用に「どれだけよんだか手帖」を作成、配布した。 ・ボランティアが制作した紙芝居の展示・おはなし会を実施した。 ・図書館HPや館内掲示等で、実施事業の報告を行った。
------------------	--

H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働によるおはなし会の開催 ・ボランティア活動場の提供 ・親子向け事業の実施 ・ヤングアダルト・児童向け特集架の設置 ・ヤングアダルト向け事業の実施 ・特集架の設置(児童・YA向け読書普及) ・紙芝居原画展とおはなし会の実施 ・絵本作家の原画展とおはなし会の実施 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	67	0	0	0		67
		H23決算	68	0	0	0		68
		H24決算	88	0	0	0		88
H25決算	90	0	0	0	90			
H26予算	95	0	0	0	95			

72	子ども科学館事業	担当課	図書館・子ども科学館
事業内容	子どもたちに、科学の知識と豊かな創造性を育むため、様々な科学的現象を体験する機会を提供して興味を喚起するとともに、子どもたちの「科学する心」を育てます。 ・展示事業・プラネタリウム事業・科学教育普及事業		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・科学教育普及事業 500事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・青少年創意くふう展の開催回数 1回 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・科学教育普及事業 799事業 ・夏休み自由研究相談室の開催日数 30日 ・夏休み自由研究相談会の開催日数 12日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回 ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 ・ロボットコンテスト 1回 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・開館25周年記念のイベントとして、企業や大学と連携した科学館フェスティバルを5月のゴールデンウィークに開催した。 ・夏休みのイベントとして、プラネタリウムで投影している『ダイナソートラベラーズ』に合わせて『恐竜フェア』を開催し、多くの事業を展開した。 ・企業や大学、市内中学校と連携して、新たにロボットコンテストを開催した。
------------------	---

H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み自由研究相談室の開催日数 36日 ・夏休み自由研究展示会の開催回数 1回(H25年度と比較し、開催期間1週間延長) ・幼児対象のシャボン玉ショーの開催回数 6回 ・中学校科学部と東海大学との協働事業 1回 ・東海大学との地域連携事業 4回 ・理数学習支援センター後援ロボット教室 1回 ・ロボットコンテスト 1回 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,196	0	0	0		1,196
		H23決算	1,228	0	0	0		1,228
		H24決算	983	0	0	0		983
H25決算	967	0	0	0	967			
H26予算	1,050	0	0	0	1,050			

73	ミニデイ・ミニサロン活動における世代間交流の推進	担当課	介護高齢福祉課				
事業内容	地域の高齢者の閉じこもり・介護予防事業として実施しているミニデイ・ミニサロン活動（民生委員等地域ボランティアにより運営）における、高齢者と子どもたちとの地域交流の取組を支援していきます。						
計画目標	継続実施						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	継続実施 ・4箇所のミニサロンで実施 ・七夕、花作り、クリスマス会等の行事に親子でミニサロンに参加したり、幼稚園児等に合唱を披露してもらったり等交流を行った。	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	A						
H25. 報告事項	・子供会がなくなり、調整、連絡が取りにくい地域もあり。 ・子供達に来てもらうには、ある程度の会場の広さが必要。						
H26. 事業内容	・季節の行事等に親子を誘って高齢者と交流。 ・小学校の授業で昔の遊びの紹介。 ・子供達を呼び高齢者と一緒に合唱を行うなど。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	13	3	2	8	0
		H23決算	17	4	2	11	0
		H24決算	36	16	5	15	0
		H25決算	53	13	7	33	0
H26予算	46	12	6	28	0		

74	海外姉妹都市高校生相互派遣事業	担当課	市民協働課				
事業内容	高校生が、海外姉妹都市でのホームステイを通じて外国の文化や生活習慣を学び、親善を深めることを目的として、伊勢原市国際交流委員会が実施する高校生の海外姉妹都市派遣事業に対し、市として支援します。						
計画目標	派遣高校生 2名						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	当該事業の実施主体である伊勢原市国際交流委員会が協議した結果、H25年度の事業は見送ることになった。	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	— 見直しを行ったところ、再開できるかの検討は続けるが、状況が改善される見込みは少ないと判断されたため。市で事業決定できないため評価対象としない。						
H25. 報告事項	未実施						
H26. 事業内容	国際交流委員会での検討の結果、当該事業の実施の見込みが立たない状態が続いていることから、H26年度事業の実施を見送ることにした。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
		H25決算	0	0	0	0	0
H26予算	0	0	0	0	0		

75	国内姉妹都市少年交流推進事業	担当課	青少年課				
事業内容	茅野市との交流を通じて社会性を養い自己を確立するとともに、指導性を習得するため交流団体に対し助成します。						
計画目標	継続実施						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	参加者 サッカー 31人 バスケットボール 73人 野球 33人	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	A						
H25. 報告事項	○例年どおり、茅野市へ訪問するスポーツ団体の交流事業を支援。						
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	175	0	58	0	117
		H23決算	222	0	74	0	148
		H24決算	175	0	46	0	129
		H25決算	242	0	92	0	150
H26予算	195	0	46	0	149		

76	(再) 教育センターの教育相談事業	担当課	教育センター					
事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族又は教職員などから受け付けます。							
計画目標	相談事業の充実に向けて継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター教育相談（教育相談員3人/日） 来所相談、電話相談、訪問相談、巡回相談等を実施 学校訪問教育相談研修会7回 支援教育研修会7回 学生ボランティア派遣34人 小中学校スクールカウンセラーによる教育相談 	事業評価	B・Cの理由					
		B	教育相談担当職員が他部署へ異動したため、相談機能が低下し、教育相談ニーズに応じ切れませんでした。					
H25. 報告事項	<p>○相談員の人数が削減された中で、最大限の対応を行ってまいりました。</p> <p>○児童生徒に関する問題が多様化し、相談件数も増加している中で、現状の体制では相談ニーズに応需しきれない現状です。</p>							
H26. 事業内容	伊勢原市内に在住、在学の児童生徒についての教育相談（学校不適応・家庭教育等）を、本人や家族、教職員などから受け付けます。また、学校における教育相談の充実を図ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,530	0	0	0	5,530	○
		H23決算	5,224	0	0	0	5,224	○
		H24決算	5,104	0	0	0	5,104	○
H25決算	5,463	0	0	0	5,463	○		
		H26予算	10,040	0	0	0	10,040	○

77	(再) 適応指導教室事業	担当課	教育センター					
事業内容	不登校児童生徒のための適応指導教室を運営します。							
計画目標	適応指導教室経営の充実に向けて継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	<p>適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室教職員4人 	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○適応指導教室教職員と教育相談員との会議を定期的に行い、情報の共有と共通認識に努め、指導の方向性の確認を行いました。							
H26. 事業内容	適応指導教室へ通室する不登校児童生徒のそれぞれの成長を、様々な活動を通して支援します。 ・適応指導教室教職員4人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,814	0	0	0	3,814	
		H23決算	3,982	0	0	0	3,982	
		H24決算	3,868	0	0	0	3,868	
H25決算	3,892	0	0	0	3,892			
		H26予算	4,020	0	0	0	4,020	

基本目標3 多様なニーズを持つすべての子育て家庭を支援します。

施策の目標

- 伊勢原が子育てしやすいまちであると感じる保護者の割合を増やします
- 子育てに対する悩みや不安が少ないと感じる保護者の割合を増やします

3-①多様な子育て支援サービスの充実方針

<施策の対応方針>

- 様々な育児環境に応じた、多様な子育て支援サービスを提供していきます。
- 保護者の就労形態に応じた、保育サービスの提供に努めます。
- 障害のある子どもの健全な育成と社会参加を促し、家庭が抱える不安感や負担感の軽減に努めていきます。

78	(再) ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課
事業内容	児童の健やかな成長や子育ての中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人 		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H25. 取組結果	(執行実績) ・設置箇所：1箇所 ・会員総数：814人 内訳 ・依頼会員 587人 ・支援会員 202人 ・両方会員 25人 ・延べ活動件：2,650件	事業評価	B・Cの理由
		—	新規支援会員の登録はあるが、退会される方もいる。依頼会員は、出生・転入、小学校入学時の案内などにより周知を行い、新規会員の加入があるが、対象児童の年齢到達により退会となる依頼会員がいることから、総数はほとんど目標までは増えないため。
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児への支援について安全な活動へつなげるため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうなど時間がかかったが、コーディネートした。 ○児童の年齢到達などにより退会となった児童や親から、支援会員へ近況とお礼の連絡が入っている。		
H26. 事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と支援を行いたい人（支援会員）からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援する。	予算額・財源内訳(単位：千円)	
	年度	総事業費	事業費内訳 国庫支出金 県支出金 その他 一般財源
	H22決算	4,656	2,375 0 0 2,281
	H23決算	4,662	2,239 0 0 2,333
	H24決算	4,624	2,312 0 0 2,312
	H25決算	4,448	0 2200 0 2,248
	H26予算	4,631	1,467 1467 0 1,697

79	養育支援訪問事業	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 ・専門的家庭訪問 10件 延120日 		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期ヘルパー派遣 6件 延48日 ・専門的家庭訪問 8件 延34日 	事業評価	B・Cの理由
		A	対象として特定妊婦が増え、複雑化する多問題やニーズに応じられるよう、事業内容の見直しが必要である。
H25. 報告事項	・対象は、要保護児、療育を必要とする児に加え、特定妊婦に訪問支援を行い、出産後の養育支援について継続的に関わることができた。ヘルパーと専門職での訪問は多角的に支援評価ができるため、有効である。この利点を活かし、特定妊婦について産前のヘルパー派遣ができるよう利用率を拡大するよう調整した。		

H26. 事業 内容	産褥期ヘルパー派遣事業に産前期を加え、利用枠を拡大する。 さらに、妊娠期から対象を把握する母子保健担当保健師と連携し、リスクマネジメントを行い、必要な人に迅速に柔軟な対応ができる運用に努める。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	219	169	0	0	50			
H23決算	170	84	0	0	86			
H24決算	214	107	0	0	107			
H25決算	242	120	0	0	122			
H26予算	382	252	0	0	130			

80	母子家庭等日常生活支援事業	担当課	子育て支援課
事業内容	病気等で一般的に家庭支援等のサービスが必要な場合などの際、家庭生活支援員を派遣することにより、日常生活における生活援助と育児支援を行います。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	○例年どおり実施	事業評価	B・Cの理由
		A	利用者なしのため

H25. 報告 事項	○25年度は利用者なし。 ○伊勢原市社会福祉協議会への委託契約により実施。 ○ひとり親家庭の全てが利用できる予算措置ではなく、要保護家庭への支援を中心に活用していることから、積極的な周知は行っていない。		
------------------	---	--	--

H26. 事業 内容	○例年どおり実施 必要な方へ必要な支援ができるよう、離婚・死別などでひとり親となる方へ制度の周知を行う。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	0	0	0	0	0	0		
H23決算	13	0	9	0	4			
H24決算	0	0	0	0	0			
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	96	0	71	0	25			

81	家庭的保育事業	担当課	保育課
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。		
計画目標	家庭的保育者登録 2人		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由
		—	実施に至っていないため。

H25. 報告 事項	事業の実施には、至らなかった。		
------------------	-----------------	--	--

H26. 事業 内容	家庭的保育者1名及び家庭的保育補助者2名の養成	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	0	0	0	0	0			
H23決算	0	0	0	0	0			
H24決算	0	0	0	0	0			
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	478	0	199	0	279			

82	一時預かり事業	担当課	保育課
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス (週3日を限度) ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス		
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園 ・利用実績 公立 延べ 259人 民間 延べ3,361人	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,580	2,790	0	0		2,790
		H23決算	5,580	3,915	0	0		1,665
		H24決算	7,380	3,690	0	0		3,690
H25決算	9,900	0	4,950	0	4,950			
H26予算	11,690	0	5,845	0	5,845			

83	幼稚園における預かり保育	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者に対して、市内私立幼稚園で実施されている預かり保育に関する情報提供を行います。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	市内の私立幼稚園10園で実施している預かり保育について、窓口や電話での問い合わせ、広報いせはら(10/1号)の掲載等による情報提供を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○幼稚園の設置者から、預かり保育への補助を望む声がある。							
H26. 事業内容	私立幼稚園が実施する預かり保育に関する情報提供を行っていきます。	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0	0			

84	やすらぎサービス	担当課	社会福祉協議会					
事業内容	保育所への送迎、産前産後の母親への家事援助、虚弱の母親に対する育児援助等の各種育児支援サービスを提供します。							
計画目標	・協力会員 100人 利用会員 180人 ・延派遣回数 2,500回 延派遣時間 4,000時間							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	実施。 協力会員 59人(3人の増) 利用会員 366人(42人の増) 派遣日数 2,840回(3月末日) 派遣時間 4,106時間(3月末日)	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	○例年通り実施。 ○妊娠中の不安定な時期に、迅速にヘルパー派遣が可能である。また市委託の産褥期ヘルパーと同じ担い手であり、引き続き同じヘルパーが支援することも可能であり、安心・安定した派遣体制が好評である。							
H26. 事業内容	継続実施 ※財源 利用量収入	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,793	0	0	8,793		0
		H23決算	4,887	0	0	4,887		0
		H24決算	4,295	0	0	4,295		0
H25決算	4,155	0	0	4,155	0			
H26予算	3,989	0	0	3,989	0			

85	レスパイトサービス事業	担当課	障害福祉課					
事業内容	知的障害児がいる家族の日ごろの心身の疲れを軽減するとともに、本人の社会性と自立心を養うため、春休み・夏休み期間、市内事業所（みどり園）で一時的に預かり、養育や介護を行います。							
計画目標	・実施日数52日							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	実施日数52日	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	実施日数52日	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,867	0	0	380	5,487	
		H23決算	6,455	0	0	321	6,134	
		H24決算	7,265	0	0	308	6,957	
H25決算	7,273	0	0	370	6,903			
H26予算	7,274	0	0	366	6,908			

86	障害児通所支援	担当課	障害福祉課					
事業内容	障害児が通所支援を受ける際に、児童福祉法による申請に基づき支給決定を行います。							
計画目標	・実利用人数 393人 ・延利用日数 10,699日							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	・実利用人数304名 ・延利用日数12,528日	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	74,204	37,102	18,551	0	18,551	
		H23決算	67,227	33,613	16,807	0	16,807	
		H24決算	99,426	55,257	26,760	0	17,409	
H25決算	136,997	68,160	34,080	0	34,757			
H26予算	117,392	58,427	29,213	0	29,752			

87	特定保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保護者が就労等により一定程度（1ヶ月当たり概ね64時間以上）児童を家庭で保育することが出来ない場合に、必要な日時について保育所で保育します。							
計画目標	実施保育所 公立2園 民間5園							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間5園	事業評価	B・Cの理由					
		—						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	継続実施 公立1園 民間5園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,340	0	7,740	0	3,600	○
		H23決算	10,530	0	7,020	0	3,510	
		H24決算	11,340	0	7,194	0	4,146	
H25決算	11,990	0	6,513	0	5,477			
H26予算	12,280	0	8,185	0	4,095			

3-②ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画社会の実現

<施策の対応方針>

- 保護者のニーズに柔軟に対応できる保育サービスを提供します。
- 保育を受けることができている待機児童の解消に努めていきます。
- 男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。
- 職業生活と家庭生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図るため、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、国、県、関係機関と連携して、事業主等に対し働きかけていきます。
- 出産等により職場を離れた人の再就職を支援するための学習機会や情報の提供など、再就職支援に努めていきます。

88	通常保育事業	担当課	保育課																																														
事業内容	児童福祉法第7条に定める児童福祉施設において、保護者の就労又は疾病等により保育に欠ける乳児又は幼児（法第24条）の保育を行います。																																																
計画目標	定員 1, 215人 A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																																
H25. 取組結果	定員 1, 225人	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	例年どおり実施																																																
H26. 事業内容	定員 1, 225人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>703,243</td> <td>185,297</td> <td>92,649</td> <td>210,188</td> <td>215,109</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>734,549</td> <td>194,689</td> <td>97,344</td> <td>228,613</td> <td>213,903</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>723,534</td> <td>187,877</td> <td>93,938</td> <td>229,669</td> <td>212,050</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>720,866</td> <td>182,426</td> <td>91,213</td> <td>234,063</td> <td>213,164</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>758,051</td> <td>192,942</td> <td>96,471</td> <td>207,018</td> <td>261,620</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	703,243	185,297	92,649	210,188	215,109		H23決算	734,549	194,689	97,344	228,613	213,903		H24決算	723,534	187,877	93,938	229,669	212,050		H25決算	720,866	182,426	91,213	234,063	213,164		H26予算	758,051	192,942	96,471	207,018	261,620	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	703,243	185,297	92,649	210,188	215,109																																												
H23決算	734,549	194,689	97,344	228,613	213,903																																												
H24決算	723,534	187,877	93,938	229,669	212,050																																												
H25決算	720,866	182,426	91,213	234,063	213,164																																												
H26予算	758,051	192,942	96,471	207,018	261,620																																												

89	年度途中入所の推進	担当課	保育課																																														
事業内容	育児休業の終了に伴う入所希望等に対応するため、中途入所を行うとともに、定員超過入所を行い柔軟な受入れに努めます。																																																
計画目標	継続実施 A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）																																																
H25. 取組結果	育児休業の終了に伴う入所希望等に対応するため、中途入所を行うとともに、定員超過入所を行い柔軟な受入れに努めました。	事業評価	B・Cの理由																																														
		A																																															
H25. 報告事項	例年どおり実施																																																
H26. 事業内容	継続実施	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> <th rowspan="2">重要施策</th> </tr> <tr> <th>国庫負担金</th> <th>県支出金</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H23決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25決算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26予算</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策	国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	H22決算	0	0	0	0	0		H23決算	0	0	0	0	0		H24決算	0	0	0	0	0		H25決算	0	0	0	0	0		H26予算	0	0	0	0	0	
年度	総事業費	事業費内訳				重要施策																																											
		国庫負担金	県支出金	その他	一般財源																																												
H22決算	0	0	0	0	0																																												
H23決算	0	0	0	0	0																																												
H24決算	0	0	0	0	0																																												
H25決算	0	0	0	0	0																																												
H26予算	0	0	0	0	0																																												

90	(再) 一時預かり事業	担当課	保育課
事業内容	勤務形態の変化や保護者の傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために、保育所での一時預かりを行います。 ・非定型的保育サービス（週3日を限度） ・緊急保育サービス ・私的理由による保育サービス		
計画目標	継続実施 公立2園 民間6園		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園 ・利用実績 公立 延べ 259人 民間 延べ3,361人	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	(取組状況) ・継続実施 公立1園 民間6園	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	5,580	2,790	0	0		2,790
		H23決算	5,580	3,915	0	0		1,665
		H24決算	7,380	3,690	0	0		3,690
H25決算	9,900	0	4,950	0	4,950			
H26予算	11,690	0	5,845	0	5,845			

91	保育時間の延長(長時間保育・延長保育)	担当課	保育課					
事業内容	長時間保育(8時間を超え11時間まで)及び延長保育(11時間を超えて保育)の実施							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	○公立4園・民間7園で実施	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	○公立4園・民間7園で実施	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	40,900	0	27,266	0		13,634
		H23決算	41,072	0	27,379	0		13,693
		H24決算	41,072	0	24,484	0		16,588
H25決算	42,219	0	22,489	0	19,730			
H26予算	43,032	0	28,688	0	14,344			

92	産休明け保育事業	担当課	保育課					
事業内容	就労先の状況などにより育児休業が取りにくい家庭のために、産後8週間を経過した児童の保育を行います。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	継続実施 民間4園 ベルガーデン保育園、大原保育園、リスブラン保育園、伊勢原こぼと保育所	事業評価	B・Cの理由					
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	継続実施 民間4園	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0	0			

93	乳児保育推進助成	担当課	保育課					
事業内容	増加している低年齢児の入所希望に対応するため、民間保育所の乳児保育にかかる費用を助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	継続実施 民間 6園	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	継続実施 民間 6園	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,600	0	0	0	3,600	
		H23決算	3,600	0	0	0	3,600	
		H24決算	3,600	0	0	0	3,600	
H25決算	3,600	0	0	0	3,600			
H26予算	3,600	0	0	0	3,600			

94	(再) 障害児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	保育士の適正な配置や研修など、保育所における障害児の受入れ体制の充実に努め、障害児保育の一層の促進を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	○対象保育所4園、対象児童4人で実施 伊勢原愛児園 1人 大原保育園 1人 リスブラン保育園 1人 伊勢原こぼと保育園 1人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	民間保育所6園、対象児童6人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,236	0	0	0	1,236	○
		H23決算	3,209	0	0	0	3,209	
		H24決算	2,751	0	0	0	2,751	
H25決算	2,730	0	0	0	2,730			
H26予算	4,813	0	0	0	4,813			

95	病後児保育事業	担当課	保育課					
事業内容	病気回復期にあり、集団での保育ができない児童の保育を行います。							
計画目標	病児対応型 1施設							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	伊勢原協同病院へ委託して継続実施 ・定員 4人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	伊勢原協同病院へ委託して継続実施 ・定員 4人 平成26年8月から「病児・病後児保育事業」 定員4人→6人	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	10,122	0	2,800	0	7,322	○
		H23決算	10,078	0	2,800	0	7,278	
		H24決算	10,049	0	2,455	0	7,594	
H25決算	10,115	0	2,316	0	7,799			
H26予算	13,047	0	3,266	0	9,781			

96	駅前保育事業の検討	担当課	保育課				
事業内容	交通の便の良い駅前での保育サービスを実施します。						
計画目標	継続実施 認定保育施設 1施設						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	継続実施 ・駅前での保育を行う認定保育施設 1箇所	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	例年どおり実施						
H26. 事業内容	継続実施 ・駅前での保育を行う認定保育施設 1箇所	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25決算	0	0	0	0	0		
H26予算	0	0	0	0	0		

97	(再)放課後児童健全育成事業(児童コミュニティクラブ事業)	担当課	子育て支援課				
事業内容	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行います。						
計画目標	・市内全小学校区(10校)で実施 ・計14クラブ 定員 720人 入所児童数 720人 ・開所時間の延長						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	放課後、保護者が就労や病気などで児童の世話をすることができない家庭を対象に、児童が安全に自由に生活できる場として「児童コミュニティクラブ」を開設し、遊びを通じた生活指導を行った。 ・市内全小学校区(10校)で実施。 ・計13クラブ 定員670人 平均入所児童数 612人 ・開所時間 放課後～午後6時30分 土曜日・長期休業日等については、 午前8時～午後6時30分 ・民間事業所(2事業所)に補助金交付を実施	事業評価	B・Cの理由				
		—	14クラブの開設が目標にあるが、定員数に対し、入所児童数が満たず、新たなクラブ開設には至らないため。				
H25. 報告事項	・新規クラブの開設ではなく、入所予定児童数の多いクラブについて、学校の協力により別の教室の利用を得ることができた。						
H26. 事業内容	・現行制度のまま継続実施。 なお、子ども・子育て支援法に伴う児童福祉法の改正により平成27年度に向けて、ニーズ調査の結果等を踏まえ、省令に基づき、設備及び運営基準を条例で定めるとともに、伊勢原市児童コミュニティクラブに関する条例及び施行規則について整理する。また、民間事業所への補助基準の改定を検討し、進めていく。	予算額・財源内訳(単位:千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	101,184	0	30,088	28,759	42,337
		H23決算	101,107	0	28,915	26,341	45,851
		H24決算	97,501	0	26,018	27,218	44,265
H25決算	95,730	0	24,773	26,084	44,873		
H26予算	102,577	0	24,290	26,749	51,538		

98	児童コミュニティクラブでの障害児受入	担当課	子育て支援課
事業内容	入所を希望し、入所要件を満たすすべての障害児が児童コミュニティに入所できるよう、地域と協力しながら各クラブの受入体制を整備します。		
計画目標	14クラブ 各1人		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	引き続き、児童の安全確保ができる範囲において、指導員人員や環境面(スペース等)等を判断し、可能な限り入所要件を満たす児童の受入を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児の受け入れのためには、指導員の追加配置が必要だが、そのための財源の確保と指導員の確保が難しい。またスペースの確保も必要となるが、定員を超えて受け入れを行っているクラブにおいては、活動スペースの確保が課題となる。							
H26. 事業内容	引き続き、児童の安全確保ができる範囲において、指導員人員や環境面（スペース等）等を判断し、可能な限り入所要件を満たす児童の受入を行う。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0	0			

99	休日保育の実施検討	担当課	保育課
事業内容	保護者の就労形態の多様化に対応するため、休日における保育の実施を検討し、児童福祉の向上及び保護者の仕事と子育ての両立支援を目指します。		
計画目標	実施施設 2施設		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			

H25. 取組結果	大原保育園において通年の休日保育事業を実施	事業評価	B・Cの理由
		—	

H25. 報告事項	認可保育所において通年の休日保育を実施		
-----------	---------------------	--	--

H26. 事業内容	大原保育園において通年の休日保育事業を実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	975	0	350	0	625	
		H24決算	1,335	0	780	0	555	
H25決算	1,337	0	737	0	600			
H26予算	1,337	0	891	0	446			

100	(再) 家庭的保育等事業	担当課	保育課
事業内容	保護者の就労や出産、疾病、介護などの理由で、家庭で保育することができないと認められる児童を、市が認定した家庭的保育者の居宅に整備された保育室において保育します。		
計画目標	家庭的保育者登録 2人		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			

H25. 取組結果	国制度に準じた事業実施に係る研究と家庭的保育者制度の研究	事業評価	B・Cの理由
		—	実施に至っていないため。

H25. 報告事項	事業の実施には、至らなかった。		
-----------	-----------------	--	--

H26. 事業内容	家庭的保育者1名及び家庭的保育補助者2名の養成	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	478	0	199	0	279			

101	私設保育施設（認可外保育施設）による保育等	担当課	保育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認定保育施設 ・届出保育施設 ・その他保育施設（事業所内保育など） 		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・認定保育施設 1施設 ・届出保育施設 2施設 ・院内保育施設 2施設 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	・市内認定保育施設 1施設 ・市外認定保育施設 7施設 ・届出保育施設 3施設 ・院内保育施設 2施設	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	・市内認定保育施設 1施設 ・市外認定保育施設 7施設 ・届出保育施設 3施設 ・院内保育施設 2施設	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	9,328	0	3,108	0		6,220
		H23決算	9,441	0	3,340	0		6,101
		H24決算	9,659	0	3,215	0		6,444
		H25決算	9,180	0	3,058	0	6,122	
		H26予算	1,569	0	522	0	1,047	

102	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(院内保育)	担当課	健康管理課					
事業内容	・院内保育							
計画目標	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して継続して補助金を交付							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付 ・東海大学医学部付属病院 ・伊勢原協同病院	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○現地調査を実施するなど、実態把握に努めました。							
H26. 事業内容	院内保育事業を実施する市内の医療機関に対して補助金を交付 ・東海大学医学部付属病院 ・伊勢原協同病院	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	8,610	0	0	0		8,610
		H23決算	8,610	0	0	0		8,610
		H24決算	8,545	0	0	0		8,545
		H25決算	8,610	0	0	0	8,610	
		H26予算	8,610	0	0	0	8,610	

103	私設保育施設(認可外保育施設)による保育等(幼稚園の預かり保育)	担当課	子育て支援課					
事業内容	(再) 幼稚園の預かり保育							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	市内の私立幼稚園10園で実施している預かり保育について、窓口や電話での問い合わせ、広報いせはら(10/1号)の掲載等による情報提供を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○幼稚園の設置者から、預かり保育への補助を望む声がある。							
H26. 事業内容	市内の私立幼稚園10園で実施している預かり保育について、窓口や電話での問い合わせ、広報いせはらの掲載等による情報提供を行います。	予算額・財源内訳(単位:千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	0	0	0	0		0
		H24決算	0	0	0	0		0
		H25決算	0	0	0	0		
		H26予算	0	0	0	0		

104	(再)ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課			
事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援します。					
計画目標	・設置箇所数 1箇所 ・会員総数 1,180人					

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	(執行実績) ・設置箇所：1箇所 ・会員総数：814人 内訳　・依頼会員 587人 ・支援会員 202人 ・両方会員 25人 ・延べ活動件：2,650件	事業評価	B・Cの理由 新規支援会員の登録はあるが、退会される方もいる。依頼会員は、出生・転入、小学校入学時の案内などにより周知を行い、新規会員の加入があるが、対象児童の年齢到達により退会となる依頼会員がいることから、総数はほとんど目標までは増えないため。					
H25. 報告事項	○例年どおり実施 ○障害児への支援について安全な活動へつなげるため、関係機関から児童についての情報収集等を行なうなど時間がかかったが、コーディネートした。 ○児童の年齢到達などにより退会となった児童や親から、支援会員へ近況とお礼の連絡が入っている。							
H26. 事業内容	児童の健やかな成長や子育て中の家庭に対する育児の支援体制の充実を図るため、市が事務局となり、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と支援を行いたい人(支援会員)からなる会員組織「ファミリー・サポート・センター」を運営し、育児に関する地域の相互援助活動を支援する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4,656	2,375	0	0		2,281
		H23決算	4,662	2,239	0	0		2,333
		H24決算	4,624	2,312	0	0		2,312
H25決算	4,448	0	2,200	0	2,248			
H26予算	4,631	1,467	1,467	0	1,697			

105	男女共同参画推進事業の促進	担当課	市民協働課人権・男女共同参画推進担当
事業内容	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進します。 ・ききょうフォーラムの運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催 ・男女共同参画に関する情報提供、啓発誌等の作成発行		
計画目標	・いせはら男女共同参画フォーラムの開催参加人数 400人 ・ききょうフォーラム通信の発行 年2回		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	男女共同参画社会の実現に向けて、プランを改定し、普及啓発活動を推進しました。 ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営(ききょうフォーラムの名称変更) 全体会4回、企画部会5回、編集部会5回、計画調整会議5回開催 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 平成26年1月18日(土)「性を越えた子育て」 講師 梶浦梶子氏 参加人数283人 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 37号「男女共同参画フォーラムの報告他」 38号「伊勢原男女共同参画プラン(改訂版)特集他」 ・男女共同参画講座の開催 「ワーク・ライフ・バランス」、「父子料理教室」、「起業準備セミナー」、「護身術」、「時短術講座」、「男女共同参画研修」の6講座を実施 延べ参加人数114人 ・男女共同参画プラン(改訂版)の策定	事業評価	B・Cの理由 B 予定した各事業については計画どおり実施されたが、フォーラム及び講座の参加人数が目標に達成しなかった。より多くの方に参加していただけるよう、工夫する必要があるため。					
H25. 報告事項	○例年どおり事業を実施しました。 ○男女共同参画プラン(改訂版)を策定しました。 ○課題 ・男女共同参画についての正しい理解の浸透には時間がかかるため、継続的な事業の実施が重要です。 ○男女共同参画フォーラムのアンケート結果及び伊勢原市男女共同参画プラン点検評価書において、市民等の皆様から様々なご意見をいただいています。							
H26. 事業内容	男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動を推進します。 ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営 ・いせはら男女共同参画フォーラムの開催 ・ききょうフォーラム通信の作成・発行 ・男女共同参画講座の開催	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	550	0	0	0		550
		H23決算	641	0	0	0		641
		H24決算	692	0	0	0		692
H25決算	677	0	0	0	677			
H26予算	527	0	0	0	527	○		

106	関係機関との連携・市内事業者等に対する普及啓発活動の実施	担当課	子育て支援課、商工観光振興課				
事業内容	国や県等の関係機関等との連携・ネットワーク形成を図りながら、働き方の見直しと多様な働き方の実現に向けて、市内事業者に対して普及啓発を行います。あわせて、仕事と育児が両立できるような様々な制度を持ち、多様で柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業（ファミリー・フレンドリー企業）の普及促進を行っていきます。						
計画目標	継続実施						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	市内事業主及び一般者を対象にワーク・ライフ・バランスに関する講演会を開催。 ・主催：伊勢原市（子育て支援課） ・協力：伊勢原市雇用促進協議会（事務局：商工観光振興課） ・演目：「中小企業にこそ必要！福利厚生でないこれからのワーク・ライフ・バランス」 ・講師：株式会社ワーク・ライフバランス 講師 村上健太氏 ・参加：4団体26名	事業評価	B・Cの理由			A	
H25. 報告事項	○参加事業者拡大のため、広報いせはら、市HPに掲載し周知を図ることとした。 ○ワーク・ライフ・バランスの必要性を伝えるための啓発事業であるため、参加してもらうまでの呼びかけ方法が難しい。 ○例年どおり実施 ○会員企業の参加率が低い。特に規模の小さい中小零細企業では、依然として厳しい経営状況等の理由から、ワークライフバランスへの対応を図る余裕がないケースも見受けられるなど、普及促進への課題がある。						
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	30	0	0	0	30
		H23決算	30	0	0	0	30
		H24決算	30	0	0	0	30
		H25決算	30	0	0	0	30
		H26予算	30	0	0	0	30

107	再就職への支援策の検討	担当課	商工観光振興課				
事業内容	出産等により退職し、その後復職を希望する人に対する就業支援策を検討します。 ・就業を促進するための民間事業者に対する協力要請・普及啓発 ・職業能力開発のための講座 ・教習会等の充実など						
計画目標	・地域職業相談室において就業相談・紹介等を実施 ・就業相談件数 10,000件 ・紹介件数 2,712件						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施した。 ・就業相談件数 13,706件 ・紹介件数 3,862件	事業評価	B・Cの理由			A	
H25. 報告事項	○景気は回復傾向にあると言われているが、県内の雇用情勢は依然として厳しい状況が続いている。						
H26. 事業内容	伊勢原市ふるさとハローワークにおいて就業相談・紹介等を実施する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源
		H22決算	4,803	0	0	0	4,803
		H23決算	4,736	0	0	0	4,736
		H24決算	4,795	0	0	0	4,795
		H25決算	4,868	0	0	0	4,868
		H26予算	5,048	0	0	0	5,048

3-③子育ての悩み解消のための支援

＜施策の対応方針＞

○育児支援や子育ての仲間づくりなど、子育てに関する情報を分かり易く一元的に提供していきます。

○子育てや生活、就労などの様々な相談に対応していきます。

○児童虐待防止に関して、発生予防の段階から、早期発見、早期対応、保護・支援・フォローに至るまでの切れ目ない総合的な支援に取り組んでいきます。

108	(再) 子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センター 1 箇所 ・「子育てひろば」 6 箇所 ・「つどいの広場」 4 箇所 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	(執行実績) <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース 開催日数：244日 参加者数：延べ11,639人 ・子育てひろば 開催日数：171日 参加者数：延べ3,993人 ・育児相談件数：延べ1,197人 ・つどいの広場 実施箇所数：1箇所 開催日数：142日 参加者数：延べ7,518人 うち「赤ちゃんひろば」 1箇所(フリースペース内) 「赤ちゃんとこれからのママのつどい」 1箇所(つどいの広場内)	事業評価	B・Cの理由					
		—	つどいの広場の増設については、実施場所の選定や財源の確保等の問題から、検討が進まない状況にある。					
H25. 報告事項	○継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・つどいの広場について、週3日(月・水・金)の開設日のうち、第1から第4の水曜日(月4回分)の運営を子育てサポーター連絡会への委託により実施。 							
H26. 事業内容	地域で孤立しがちな母親の子育ての不安やストレス、悩みの解消を図るため、子育て支援センターに子育てアドバイザーを配置し、親子の遊びや息抜き、情報交換、仲間づくりの場を提供します。 また、乳幼児を持つ子育て中の親が気軽に集い、うちとけた雰囲気の中で語り合うことで精神的な安心感を持ち、問題解決の糸口となる場として、「つどいの広場」を展開するとともに平成27年度を別途として1箇所新たな開設に向けその準備を進める。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	8,289	4,276	0	0	4,013	
		H23決算	8,979	4,286	292	0	4,401	
		H24決算	7,923	3,962	0	0	3,961	
		H25決算	7,083	0	3541	0	3,542	
		H26予算	7,281	2,427	2427	0	2,427	

109	(再) 地域育児センター事業	担当課	保育課
事業内容	保育所の専門的機能を活用し、地域における子育てのニーズにきめ細やかに対応するため、各認可保育所において様々な子育て支援事業を実施します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 ・民間保育所 7園 		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			
H25. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 4園 育児相談事業 延べ 143件 三世代交流型支援事業 延べ 109回 園庭開放 延べ 137人 ・民間保育所 7園 育児相談事業 延べ 504件 三世代交流型支援事業 延べ 37回 園庭開放 延べ 1043人 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所 4園 育児相談事業 三世交代流型支援事業 園庭開放 民間保育所 7園 育児相談事業 三世交代流型支援事業 園庭開放 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

110	子育てサロン	担当課	社会福祉協議会					
事業内容	地区の主任児童委員・民生委員・児童委員と協力し、親子の自由な遊び場や保護者同士の交流の場として、「子育てサロン」を開催します。							
計画目標	実施回数 12回 参加者数 大人 250人、子ども250人							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	○実施回数 11回 ○参加者数 (延べ人数) 363人 大人 166人 子ども 197人 ※内新規 76人 大人 37人 子ども 39人	事業評価	B・Cの理由					
		—						
H25. 報告事項	平成24年度に比べると参加者数は多少減少したが、月平均参加者数が15組(33人)と安定している。10月より、市民の方がボランティアで工作の準備をしてくれるようになり、工作は参加者からは好評をいただいている。また、平成25年4月からは、成瀬地区の地域住民(旧・現の民生委員及び主任児童委員が中心)による新たな子育てサロン「ひだまりバンビーニ」が同会場で開設となった。おもちゃの共有や情報共有を行い、それぞれのサロン運営に活かしている。両サロンが地域の親子の遊び場、地域交流の場として活用されている。							
H26. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○親子の安全で楽しい遊び場の提供、子育て中の保護者と子どもの地域交流を促す。 ○工作等については、市民ボランティアの協力により実施。 ○市：子育て支援課保健師が年に2回(6月・12月)参加。子供の健康(季節柄気をつけるべき病気など)のアドバイスや相談対応を依頼。 ○市内他の子育て団体との情報交換会を5月に実施。今後もこのような場を設け、連携しながら市内の子育て世代の方を支援していく。 ○新たな周知方法について検討していく。 ※財源 年末たすけあい募金 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	18	0	0	18	0	
		H23決算	25	0	0	25	0	
		H24決算	17	0	0	17	0	
		H25決算	44	0	0	44	0	
H26予算	33	0	0	33	0			

111	(再)療育相談	担当課	子ども家庭相談室				
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。						
計画目標	相談支援件数 2,200件						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	継続実施 相談支援件数1,973件	事業評価	B・Cの理由				
		A					

H25. 報告事項	児童発達支援事業などの療育機関の定員枠を超えている現状から、療育相談の結果、療育機関の利用が児の健やかな発達のために有用であると判断したとしても、受けてもらうことが困難という状況が年々生じている。子ども家庭相談室の療育相談の枠でフォローするなど工夫しながら対応しているため、相談支援件数が増加している。							
H26. 事業内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○
		H23決算	10,169	0	0	0	10,169	○
		H24決算	10,310	0	0	0	10,310	○
		H25決算	10,087	0	0	0	10,087	○
H26予算	10,749	0	0	0	10,749			

112	新ママセミナー	担当課	社会教育課					
事業内容	日ごろの子育ての悩みを解消するとともに、仲間づくりを推進します。							
計画目標	実施回数 1講座3回							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	7ヶ月児から1歳児までの子どもを持つ親を対象に、1講座(全3回)を実施 (会場：伊勢原南公民館)	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○課題 ◆当初は5月に実施予定だったが、周知が不十分で申し込み人数が若干名だったことから、10月・11月に延期して実施した。 ○住民の声 ◆このようなイベントは年間を通して、何回か実施してほしい。							
H26. 事業内容	7ヶ月児から1歳児までの子どもを持つ親を対象に、1講座(全3回)を実施予定。 (会場：伊勢原南公民館)	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	30	0	0	0	30	
		H23決算	42	0	0	0	42	
		H24決算	35	0	0	0	35	
H25決算	40	0	0	0	40			
H26予算	69	0	0	0	69			

113	家庭児童相談	担当課	子ども家庭相談室			
事業内容	家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭及び児童の福祉に関する相談に応じ、必要な調査や助言、指導を行います。					
計画目標	相談支援件数 4,000件					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組結果	継続実施 相談支援件数5,015件	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告事項	・児童相談センターを子育て支援課の担当課から独立し、課相当の子ども家庭相談室として体制の充実を図った。					

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	1,979	0	0	130	1,849	○		
H23決算	2,037	0	0	26	2,011	○		
H24決算	2,050	0	0	0	2,050	○		
H25決算	2,062	0	0	0	2,062	○		
H26予算	2,097	0	0	0	2,097			

114	母子父子福祉相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	母子や父子、寡婦家庭の生活一般、児童、生活援助などに関し、子育て支援課内で母子自立支援員が相談に応じます。また、市内認可保育所においても、母子自立相談員（園長）による同様のサービスを行います。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組 結果	延べ相談件数 934件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	○例年どおり実施 ○母子家庭の母、父子家庭の父からの相談に母子自立支援員が応じました。 ○様々なケースへの対応。 母子自立相談員（園長）から相談数はなかった。							
H26. 事業 内容	○例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,351	0	0	0	3,351	
		H23決算	3,231	0	0	0	3,231	
		H24決算	3,443	0	0	0	3,443	
H25決算	3,255	0	0	0	3,255			
H26予算	3,463	0	0	0	3,463			

115	子育て相談窓口の一元化の推進	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	関係機関との連携により、子育て支援にかかわる窓口の一元化を推進します。		
計画目標	子育て相談窓口の体制強化		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H25. 取組 結果	継続実施 ・児童相談センターの運営（児童相談事業、 発達相談等事業、児童虐待防止等事業の実 施）	事業評価	B・Cの理由
		A	
H25. 報告 事項	・児童相談センターを子育て支援課の担当課から独立し、課相当の子ども家庭相談室として体制の充実を図った。		

H26. 事業 内容	継続実施 ・児童相談センターの運営（児童相談事業、 発達相談等事業、児童虐待防止等事業の実 施）	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	○
		H23決算	0	0	0	0	0	○
		H24決算	0	0	0	0	0	○
		H25決算	0	0	0	0	0	○
		H26予算	0	0	0	0	0	

116	子育て支援総合コーディネーター事業	担当課	子育て支援課						
事業内容	「子育て支援総合コーディネーター」を配置し、地域における多様な子育てサービス情報を一元的に把握するとともに、収集した情報をデータベース化し、インターネット等を活用したサービス利用者への情報提供、ケースマネジメント及び利用支援などのサービスを提供します。								
計画目標	子育て支援センターに専任コーディネーターを1名配置								
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）									
H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てマップなどの作成・配布 ・子育て支援に関する様々な情報の蓄積及び発信 ・各専門機関との話し合い、情報共有 ・コーディネーター機能の充実 	事業評価	B・Cの理由						
		—	問い合わせに対する情報提供はその都度実施しているが、専任コーディネーターの配置には至らず、ホームページ等の活用も不十分なため。						
H25. 報告 事項	○例年どおり実施 ○事業推進するための専門従事者が不足している。								
H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てマップなどの作成・配布 ・子育て支援に関する様々な情報の蓄積及び発信 ・各専門機関との話し合い、情報共有 ・コーディネーター機能の充実 	予算額・財源内訳(単位：千円)							
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
			H22決算	161	0	0	0	161	
			H23決算	168	0	0	0	168	
			H24決算	159	0	0	0	159	
	H25決算	156	0	0	0	156			
	H26予算	166	0	0	0	166			

117	(再)健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課					
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・年間43,000冊 							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組 結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。43,000冊発行							

H26. 事業 内容	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	406	0	0	0	406			
H23決算	398	0	0	0	398			
H24決算	398	0	0	0	398			
H25決算	389	0	0	0	389			
H26予算	504	0	0	0	504			

118	児童虐待防止等事業	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童の適切な保護を図るとともに関係機関との連携に努め児童虐待防止に取り組みます。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営 代表者会議開催 1回 実務担当者会議開催 2回 全ケース把握会議開催 12回 ケース検討会議開催 120回 研修会開催 2回 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	継続実施 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> 代表者会議 2回開催 実務担当者会議 2回開催 全ケース把握会議 12回開催 ケース検討会議開催 76回(123人) 研修会 12回 キャンペーン活動 2回 出前講座 5回 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	例年どおり実施
------------------	---------

H26. 事業 内容	継続実施 市内1箇所で行っている高校生を対象とした出前講座を市内の高校に広めていく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						重要 施策
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	194	125	0	0	69	○		
H23決算	1,058	39	511	0	508	○		
H24決算	898	0	271	0	627	○		
H25決算	2,025	462	575	0	988	○		
H26予算	4,707	2,116	0	0	2,117	○		

119	子ども虐待防止電話相談	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	NPO法人「子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク」に委託し、電話による相談事業を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	継続実施 NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワークに電話相談事業を委託実施 ・相談件数 41件	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	例年どおり実施							
H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワークに電話相談事業を委託実施 	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	468	0	0	0	468	○
		H23決算	468	0	0	0	468	○
		H24決算	468	0	0	0	468	○
H25決算	468	0	0	0	468	○		
H26予算	468	0	0	0	468	○		

3-④経済的負担の軽減

<施策の対応方針>

- 子どもの医療費の支援に努めます。
- 保育料等の減額や助成などの支援に努めます。
- 障害のある子どものいる家庭への経済的支援に努めます。
- ひとり親家庭への、充実した経済支援に努めていきます。

120	子ども手当支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを、社会全体で応援することを目的として、中学校修了までの子どもを対象として、親等に子ども手当・児童手当を支給します。							
計画目標	「児童手当」から「子ども手当」へ移行。さらに「子ども手当」から「児童手当」へ移行。							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	○平成25年度6月期定例支給分から、児童手当法第22条の3の規定に基づき、本人の申出により、学校給食費、保育料、児童コミュニティ育成負担金の前年度までの滞納分を、児童手当・特例給付から徴収した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○児童手当等からの本人の申出による徴収について、毎年6月に実施する児童手当等現況届の未提出により、申出があったにもかかわらず徴収ができないケースがあった。各徴収費目の所管課へ児童手当制度の周知を図ることが、受給者への徴収制度の周知にもつながるため、児童手当担当から積極的に制度説明の機会を設ける必要がある。							
H26. 事業内容	○児童手当法に基づき、継続して事業を実施する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,757,366	1,379,426	188,951	0	188,989	
		H23決算	2,003,406	1,544,696	227,080	0	231,630	
		H24決算	1,749,086	1,224,721	251,024	0	273,341	
		H25決算	1,661,965	1,159,403	250,766	0	251,796	
H26予算	1,653,825	1,151,096	248,722	0	254,007			

121	多子世帯保育料の軽減	担当課	保育課					
事業内容	保育料にかかる保護者の負担を軽減するため、同一世帯で2人以上の子どもが認可保育所に入所する場合、保育料の階層に応じて保育料を減額します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	継続実施 ・3人入所の場合、3人目は無料	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	継続実施 ・3人入所の場合、3人目は無料	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

122	要保護及び準要保護児童生徒援助	担当課	学校教育課					
事業内容	経済的な理由で小・中学校への就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などの一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行いました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	引き続き、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等必要な経費の一部について援助を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	47,497	494	0	0	47,003	
		H23決算	48,885	469	0	0	48,416	
		H24決算	46,584	209	0	0	46,375	
H25決算	47,906	554	0	0	47,352			
H26予算	51,148	460	0	0	50,688			

123	小児医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	0歳児～小学3年生（所得制限なし）の通院・入院について266,932,284円(140,566件)、小学4年生～中学生（所得制限あり）の入院について1,049,670円(19件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	○継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	232,530	0	57,928	0	174,602	
		H23決算	239,940	0	78,817	0	161,123	○
		H24決算	285,112	0	55,613	0	229,507	○
H25決算	270,642	0	54,002	0	216,640	○		
H26予算	281,862	0	55,209	0	226,653	○		

124	出産一時金の支給	担当課	保険年金課					
事業内容	国民健康保険の被保険者が出産した場合、出産一時金が支給されます。 ・支給単価 42万円							
計画目標	支給単価の拡大							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	・支給対象者 133人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	国民健康保険法及び伊勢原市国民健康保険条例に基づき適切に支給しました。 平成25年度の支給単価変更はありません。							
H26. 事業 内容	支給対象者見込 143人	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	52,302	2,800	0	0		49,502
		H23決算	53,760	1,260	0	0		52,500
		H24決算	52,080	180	0	0		51,900
H25決算	55,860	0	0	0	55,860			
H26予算	60,060	0	0	0	60,060			

125	(再) 幼稚園就園児補助	担当課	子育て支援課					
事業内容	保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、市内在住の子どもが市内・市外の私立幼稚園に就園する場合に、入園料等の一部を助成します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	私立幼稚園に就園させている保護者に対して、就園奨励費と一本化し、保育料等の一部を補助し、保護者の経済的負担軽減を図りました。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	No. 16と同様。							
H26. 事業 内容	No. 16と同様。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	11,193	0	0	0		11,193
		H23決算	11,481	0	0	0		11,481
		H24決算	11,869	0	0	0		11,869
H25決算	11,217	0	0	0	11,217			
H26予算	0	0	0	0	0			

126	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、45,409,220円(17,648件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由			A		
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	51,575	0	24,170		0	27,405
		H23決算	52,248	0	24,750		0	27,498
		H24決算	48,441	0	22,091		0	26,350
H25決算	46,453	0	21,288	0	25,165			
H26予算	49,359	0	23,337	0	26,022			

127	ひとり親家庭等入学支度金支給	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の児童が小学校・中学校に入学する際に入学支度金を支給し、経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組結果	小学校入学10,000円(36人)、中学校入学12,000円(64人)を支給している。	事業評価	B・Cの理由			A		
H25. 報告事項	例年どおり実施							
H26. 事業内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位:千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	1,218	0	0		0	1,218
		H23決算	1,150	0	0		0	1,150
		H24決算	1,148	0	0		0	1,148
H25決算	1,128	0	0	0	1,128			
H26予算	1,264	0	0	0	1,264			

128	ひとり親家庭援護事業	担当課	社会福祉協議会				
事業内容	ひとり親家庭の中学校卒業生に対して、祝品を支給します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組 結果	今年度も実施方法は例年どおり。 件数 16件 ※財源は社協会員会費	事業評価	B・Cの理由				
		—					
H25. 報告 事項	○例年どおり実施						
H26. 事業 内容	○例年通り実施。 ※財源 社協会員会費	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	190	0	0	190	0
		H23決算	190	0	0	190	0
		H24決算	150	0	0	150	0
H25決算	160	0	0	160	0		
H26予算	221	0	0	221	0		

129	児童扶養手当支給	担当課	子育て支援課				
事業内容	母子世帯等の生活の安定を図り自立を促進するため、父と生計を同じくしていない児童を養育する人に手当を支給し、児童福祉の増進を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組 結果	H25.4月～9月分 児童一人全部支給41,430円 児童二人以上の加算2人目5,000円、3人目以降3,000円。 一部支給41,420円～9,780円。 H25.10月分～H26.3月分(額改定) 児童一人全部支給41,140円 児童二人以上の加算2人目5,000円、3人目以降3,000円。 一部支給41,130円～9,710円。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告 事項	○児扶手法に基づく制度のため、支給手続きについては変更なし。 支給額については、平成25年10月分から額改定あり。(取組結果のとおり) ○様々なケースへの対応						
H26. 事業 内容	○児童扶養手当法に基づくとおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	254,927	84,000	0	0	170,927
		H23決算	263,783	87,728	0	0	176,055
		H24決算	260,621	86,925	0	0	173,696
H25決算	253,658	83,874	0	0	169,784		
H26予算	258,275	85,885	0	0	172,390		

130	母子寡婦福祉資金の貸付制度	担当課	子育て支援課				
事業内容	母子家庭や寡婦の方に低利又は無利子で資金を貸すことにより、その経済的自立や子どもの福祉の増進を図ります。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	例年同様に子どもの進学等の相談を受け、資金貸付を行った。 ○25年度も引き続き、償還が滞っているケースについては、県政策局経理課預かりで延滞債権ケースの償還指導を行う。 ○市でも引き続き償還指導を行う。	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	○H25年度から県政策局経理課預かりで延滞債権ケースの償還指導を開始した。						
H26. 事業内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0			
H26予算	0	0	0	0			

131	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	母子家庭の自立を促進するため、母子家庭の母親が自立して生計を維持するための教育訓練講座を受講した場合、その受講料の一部を支給します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組結果	受講料の20%(上限10万円)を支給(対象0人)	事業評価	B・Cの理由				
H25. 報告事項	平成25年度から母子家庭の母だけでなく、父子家庭の父についても対象となった。制度周知に努めました。また、自立支援教育訓練給付事業の他に平成18年度から高等技能訓練促進費等事業を実施した。 H21年度新規対象：2名 H22年度新規対象：2名 H23年度新規対象：1名 修了：4名 H24年度新規対象：1名 修了：2名 H25年度新規対象：1名 修了：2名						
H26. 事業内容	○例年どおり実施 ○高等職業訓練促進給付金等事業については、事業名改正し「高等職業訓練促進給付金等事業」となる。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0			
H26予算	40	30	0	0	10		

132	緊急母子貸付金	担当課	子育て支援課				
事業内容	母子寡婦福祉協会に所属している母子家庭に対し、生活費に充てる経費を貸し付けます。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組 結果	市母子寡婦福祉協会の実施事業 (廃止の報告で検討中)	事業評価	B・Cの理由				
		—	事業停止のため。				
H25. 報告 事項	ひとり親福祉協会 (旧市母子寡婦福祉協会) の実施事業であるが、廃止の方向で検討中。						
H26. 事業 内容	ひとり親福祉協会において、廃止の方向で検討中。	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	0	0	0	0	0
		H23決算	0	0	0	0	0
		H24決算	0	0	0	0	0
H25決算	0	0	0	0	0		
H26予算	0	0	0	0	0		

133	特別児童扶養手当支給	担当課	障害福祉課				
事業内容	政令で定める一定の身体障害・知的障害・精神障害の状態にある児童について、福祉の増進を図ることを目的として手当を支給します。						
計画目標	継続実施						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組 結果	対象者数 159人 (県財源)	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告 事項	例年どおり実施						
H26. 事業 内容	対象者数 159人 (県財源)	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	
		H22決算	529	203	0	0	326
		H23決算	535	213	0	0	322
		H24決算	534	211	0	0	323
H25決算	535	216	0	0	319		
H26予算	537	216	0	0	321		

134	障害児福祉手当支給	担当課	障害福祉課					
事業内容	身体・知的障害のある在宅の重度障害児に手当を支給します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	障害児 594人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	例年どおり実施							
H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	7,119	5,339	0	0		1,780
		H23決算	8,187	6,140	0	0		2,047
		H24決算	7,716	5,787	0	0		1,929
H25決算	8,462	6,346	0	0	2,296			
H26予算	11,060	8,295	0	0	2,765			

135	特別支援学校在学者福祉手当支給	担当課	障害福祉課					
事業内容	特別支援学校に在学している障害者に対して、手当を支給します。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	・対象者数 小学部以下 23人 中学部以上 64人 計 87人	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	例年どおり実施							
H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	3,441	0	0	0		3,441
		H23決算	4,010	0	0	0		4,010
		H24決算	4,791	0	0	0		4,791
H25決算	4,684	0	0	0	4,684			
H26予算	5,551	0	0	0	5,551			

136	市営・県営住宅等の情報提供	担当課	建築住宅課					
事業内容	家庭内における子育て環境の整備に資するため、市営住宅や県営住宅等の入居について、母子及び父子世帯、多子世帯優遇制度の情報提供を行います。							
計画目標	公営住宅等の入居者募集及び入居優遇制度の情報提供を実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	市営住宅入居者募集 ・市営住宅募集のしおり配付 7月募集 7月16日～8月1日 11月募集 11月8日～11月25日 募集戸数 12戸 応募件数 25件 入居件数 11件 (うち母子世帯6件)	事業評価	B・Cの理由					
	県営住宅入居募集 ・県営住宅募集のしおり配付 5月募集 5月10日～6月3日 11月募集 11月8日～12月2日 常時募集 4月2日～11月29日	A						
H25. 報告 事項	例年どおり実施							
H26. 事業 内容	市営住宅入居者募集 ・市営住宅募集のしおり配付 6月募集 6月2日～6月18日 募集戸数 8戸 県営住宅入居募集 ・県営住宅募集のしおり配付 5月募集 5月9日～6月2日 11月募集 11月中旬～12月上旬 常時募集 4月2日～11月28日	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

基本目標4 親と子の健康づくりを進めます

施策の目標

- 安心して妊娠・出産ができると感じている保護者の割合を増やします
- 子どもの医療環境に安心感を感じている保護者の割合を増やします

4-①安心して出産し子育てができる環境づくり

<施策の対応方針>

- 訪問・保健指導や相談等を充実し、妊娠期からの切れ目のない継続的な支援を実施します。
- 妊娠期における検診の充実を図ります。
- 父親の育児参加を促進します。

137	母子父子健康手帳の交付	担当課	子育て支援課					
事業内容	妊娠や出産、育児に役立てるとともに、予防接種や成長、発達記録を残し、また父親の育児参加を促進するため、手帳を交付します。							
計画目標	継続実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組 結果	継続実施 H25年度 928件	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○例年どおり実施 ○妊娠届出数が前年度比較約5%減少 							
H26. 事業 内容	○一般財源にて継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)				重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金		その他	一般財源
		H22決算	503	0	0		0	503
		H23決算	451	0	0		0	451
		H24決算	523	0	0		0	523
H25決算	109	0	0	0	109			
H26予算	546	0	0	0	546			

138	妊婦健康診査	担当課	子育て支援課			
事業内容	妊婦・乳児の死亡率の低下や早産・死産の防止、心身障害の発生予防のため、医療機関に委託し、妊娠中の健康管理を行います。					
計画目標	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため妊婦健診の公費補助を実施 1人に対し14回					
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）						
H25. 取組 結果	○一般財源にて、継続事業実施 ○産科を有する医療機関と連携し、早期の妊娠届出及び妊婦健康診査受診勧奨を行う。 ○助成額について検討。	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○妊婦健診により繋がるため、平成26年度から妊婦健康診査11～14回目の補助額を3,000円から5,000円に予算化した。 ○例年通り実施 					

H26. 事業 内容	○安心して出産できる環境づくりの一つとして今後も継続していく。 ○産科を有する医療機関連絡会を活用して、妊娠期から必要な妊婦の情報共有として支援を開始する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	39,147	0	9,142	0	30,005	
		H23決算	37,824	0	8,613	0	29,211	
		H24決算	38,463	0	9,021	0	29,442	
H25決算	36,549	0	0	0	36,549			
H26予算	42,561	0	0	0	42,561			

139	母親・父親学級／両親教室母親・父親学級フォローアップ教室	担当課	子育て支援課
事業内容	初妊婦やその夫に、妊娠や分娩、産じょく、育児、栄養に関する知識を習得し、仲間づくりの場を提供します。また、妊娠中や産後の不安軽減のため、フォローアップ教室開催に向けて検討します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・母親・父親学級 4日間6コースで実施 参加者500人 ・両親教室 年5回実施 参加者200人 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○平日3日間とは別に、土曜開催で父母達の交流を目的として教室を開催した。 ○母親・父親教室(平日)208人 (土曜開催両親教室 181人)計389人	事業評価	B・Cの理由
		B	

H25. 報告 事項	○前年に引き続き、交流しやすい雰囲気づくりや関心の高い内容を取り入れたり、先輩ママ(離乳食教室)と交流することで、参加者の満足度は高い。 ○市内の産科を有する医療機関の母親学級の見学や情報収集を行い、行政の特性を行かした教室を開催した。
------------------	---

H26. 事業 内容	○引き続き妊婦を取り巻く情報を整理して、安心して出産できる環境づくりの一つとして内容の検証と工夫していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	343	0	0	0	343	
		H23決算	534	0	0	0	534	
		H24決算	545	0	0	0	545	
H25決算	823	0	0	0	823			
H26予算	534	0	0	0	534			

140	訪問指導(妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	担当課	子育て支援課
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。		
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○妊娠届出から就学前までの乳幼児らの状況把握、支援の必要性について検証し、第2子以降で特に支援が必要でない新生児については、地域の子育てサポーターと民生委員児童委員がペアとなって訪問、また、第1子及び支援が必要な新生児・乳幼児については、助産師等の専門員が訪問指導を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	訪問指導件数 1518件 ・こんにちは赤ちゃん訪問 849件 内訳 専門職訪問582件 子育てサポーター・民生・児童委員267件)
------------------	--

H26. 事業 内容	引き続き、妊娠届出から就学前の乳幼児の状況把握、支援の必要性について検証していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,810	469	0	0	1,341	
		H23決算	4,424	2,212	0	0	2,212	
		H24決算	5,244	2,918	0	0	2,326	
		H25決算	5,405	0	2707	0	2,708	
H26予算	5,764	1,921	1,921	0	1,922			

141	(再) 養育支援訪問事業	担当課	子ども家庭相談室					
事業内容	出産後間もない時期の養育者や様々な原因で養育が困難になっている家庭に育児・家事等の援助を行うヘルパーや保健師、保育士等を派遣し、育児支援を行うことにより、養育上の諸問題の解決、軽減を図り、虐待を未然に防止することに繋がります。							
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期ヘルパー派遣 8件 延80日 専門的家庭訪問 10件 延120日 							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期ヘルパー派遣 6件 延48日 専門的家庭訪問 8件 延34日 	事業評価	B・Cの理由					
		A	対象として特定妊婦が増え、複雑化する多問題やニーズに応じられるよう、事業内容の見直しが必要である。					
H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> 対象は、要保護児、療育を必要とする児に加え、特定妊婦に訪問支援を行い、出産後の養育支援について継続的に関わることができた。ヘルパーと専門職での訪問は多角的に支援評価ができるため、有効である。この利点を活かし、特定妊婦について産前のヘルパー派遣ができるよう利用枠を拡大するよう調整した。 							
H26. 事業 内容	産褥期ヘルパー派遣事業に産前期を加え、利用枠を拡大する。さらに、妊娠期から対象を把握する母子保健担当保健師と連携し、リスクマネジメントを行い、必要な人に迅速に柔軟な対応ができる運用に努める。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	219	169	0	0	50	
		H23決算	170	84	0	0	86	
		H24決算	215	107	0	0	108	
		H25決算	242	120	0	0	122	
H26予算	382	252	0	0	130			

142	多胎児教室	担当課	子育て支援課		
事業内容	双子や三つ子等、多胎児の保護者に対して、子育てに関する教室を秦野保健福祉事務所と共催で開催して精神的な負担の軽減及び健康の確保を図ります。				
計画目標	秦野保健所との共催で継続実施 (参加者50組)				
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)					
H25. 取組 結果	○引き続き、多胎児が出会える機会として、継続実施。	事業評価	B・Cの理由		
		A			
H25. 報告 事項	7月、11月、2月実施～計13組の参加があった。母たちが情報交換等積極的に行っている様子があった。				

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

143	母親・父親学級同窓会の開催検討	担当課	子育て支援課
事業内容	参加者からの要望が高い母親・父親学級同窓会について、開催に向けて検討していきます。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○引き続き実施。 ○随時アンケートにより評価	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	母親父親学級に参加した人のほとんどが離乳食教室継続して参加していた。 出産後の子育ての状況等を話す等、日ごろの育児を振り返る場としても活用していた。		
------------------	---	--	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

144	不妊治療の支援	担当課	子育て支援課
事業内容	神奈川県不妊治療専門相談センターによる不妊相談や、神奈川県特定不妊治療費助成事業の開始に伴い、市として情報提供に努めていくとともに、今後の支援策を検討します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○不育症治療費一部助成事業開始	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	不育症治療の医療助成の予算化。対応ができる体制整備をした。							
H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の産科を有する医療機関や不育症治療を行う医療機関への周知 ・広報やホームページ等による市民への周知 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	0	0	0	0	0			
H26予算	800	0	0	0	800			

4-②親と子の健康の確保

<施策の対応方針>

- 母子保健における各種健康診査、訪問指導、保健指導等を充実します。
- 心身の健康づくり、疾病の早期発見・障害の発生予防など、総合的な母子保健対策を推進します。
- 食を通じた豊かな人間性・家族関係・心身の健全育成を図っていきます。
- 食育推進計画を策定し、計画的に食育の普及を図ります。

145	マタニティクッキング	担当課	子育て支援課				
事業内容	妊婦に対し調理実習や栄養教育を通じて食生活の改善を促し、妊婦の健康を確保します。						
計画目標	母親・父親学級1回4日間コースの中の第2日目の教室に実施 参加者100人						
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)							
H25. 取組 結果	○引き続き事業実施。	事業評価	B・Cの理由			B	
H25. 報告 事項	59名の参加あった。実際調理できてうれしいという人もいたが、中には調理中体調を崩す妊婦もいたためやり方を変更していく必要があると思われた。						
H26. 事業 内容	継続実施 調理実習から調理見学へ変更する	予算額・財源内訳(単位：千円)					
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	
		H22決算	460	386	0	62	12
		H23決算	425	0	0	57	368
		H24決算	465	0	0	57	408
H25決算	395	0	0	59	336		
H26予算	552	0	0	72	480		

146	離乳食教室	担当課	子育て支援課			
事業内容	離乳食の献立や作り方等の実演および乳歯のむし歯予防等、乳幼児の食や栄養に関する正しい知識を伝え、健康維持増進を図ります。					
計画目標	年間参加者数 500人					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組 結果	○引き続き事業実施。	事業評価	B・Cの理由			A
H25. 報告 事項	離乳食初期のごっくん離乳食教室では212名の参加があった。離乳食教室だけではなく、その後もすすく健康相談で離乳食中期・後期の参加が162名で、合わせて374名であった。その他の健康相談や各健診等で継続して相談にのれるようにした。					

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	638	319	0	0	319	
		H23決算	2,869	1,434	0	0	1,435	
		H24決算	679	0	0	0	679	
		H25決算	1,018	0	0	0	1,018	
H26予算	1,080	0	0	72	1,008			

147	(再) 思春期栄養改善事業	担当課	学校教育課
事業内容	中学生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、中学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。		
計画目標	骨密度測定と栄養教育を実施 中学校4校各1学年		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行いました。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○6/11 山王中学校 222名 10/3,4 伊勢原中学校 288名 11/12 成瀬中学校 204名 12/5 中沢中学校 166名 骨密度測定及び栄養教育を中学2年生880名に実施した。 ○あわせて食生活に関するアンケート調査を実施し、栄養指導のための資料として学校に報告した。
------------------	--

H26. 事業 内容	望ましい食習慣を身に付けてもらうため、4中学校の2年生を対象に、骨密度測定を取り入れた栄養指導を行います。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	48	0	0	0	48	
		H23決算	133	0	0	0	133	
		H24決算	91	0	0	0	91	
		H25決算	143	0	0	0	143	
H26予算	154	0	0	0	154			

148	(再) 思春期食育事業	担当課	健康管理課
事業内容	高校生を対象に、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにするため、高等学校での骨密度測定等を実施し、栄養改善を推進します。		
計画目標	骨密度測定、食教育及び食事相談を実施 高等学校2校		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。	事業評価	B・Cの理由
		—	高校側が骨量測定の受け入れが難しく、学校数を増やすことが難しかった。

H25. 報告 事項	-
------------------	---

H26. 事業 内容	高等学校1校に骨密度測定、食教育及び食事相談を実施。骨密度測定の結果説明を効率化し、待ち時間の短縮を図り、さらに多くの方に参加してもらう流れを作ります。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	219	109	0	0	110	
		H23決算	196	98	0	0	98	
		H24決算	91	0	0	0	91	
		H25決算	92	0	0	0	92	
H26予算	76	0	0	0	76			

149	健康診査時集団指導	担当課	子育て支援課
事業内容	健康診査時に、各月齢の発育、発達の外、事故防止、予防接種等について説明し、その外、栄養歯科に関わることや、子育てについての集団指導を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○引き続き、関係機関と連携し、変更点等注視し、指導内容を変更していく。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	乳幼児健診時、保護者に対して育児（事故防止やかかわり方のポイント）、栄養、歯科衛生等を説明した。
------------------	--

H26. 事業 内容	・今後も継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

150	庁内栄養士連絡調整会議	担当課	健康管理課
事業内容	栄養士間での情報交換、連絡調整を行い、食育の推進を図ります。		
計画目標	食育推進連絡会議に合わせて、実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	食育の取組が総合的かつ計画的に推進されるよう随時実施。	事業評価	B・Cの理由
		A	7月に食育推進計画が完成し、今年度は各課での取組みを推進してもらった。

H25. 報告 事項	食育の取組が総合的かつ計画的に推進されるよう担当で随時実施しました。
------------------	------------------------------------

H26. 事業 内容	「伊勢原市食育推進連絡会議」に合わせて実施。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

151	食育推進のための体制づくり（食育推進計画の策定）	担当課	健康管理課
事業内容	家庭、保育所、学校における計画的な食育の推進を図るため、伊勢原市食育推進計画を策定し、伊勢原市食育推進会議を開催します。		
計画目標	H24年度伊勢原市食育推進計画の策定および食育推進会議の実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	平成24年度に作成した第2次伊勢原市食育推進計画（案）について、パブリックコメントを実施し計画を策定しました。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	平成25年7月に第2次伊勢原市食育推進計画を策定しました。
------------------	-------------------------------

H26. 事業 内容	食育の取組を推進し、計画の進行管理や評価検討をするため「伊勢原市食育推進連絡会議」を実施します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	90	0	0	0	90	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	200	0	0	0	200	

152	各種健康診査	担当課	子育て支援課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健康診査 ・7か月児健康相談 ・お誕生日前健康診査 ・1歳6か月児健康診査 ・2歳児歯科健康診査 ・3歳児健康診査・経過検診 		
計画目標	継続実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	○継続実施	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	各乳幼児健診の受診率が98.8%から92.9%と高い水準であった。 未受診者に対しても勧奨はがき～地区担当支援と受診に向けて対応していた。
------------------	--

H26. 事業 内容	引き続き実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	26,856	0	0	0	26,856	
		H23決算	27,802	0	0	0	27,802	
		H24決算	26,634	0	0	0	26,634	
H25決算	22,431	0	0	0	22,431			
	H26予算	25,016	0	0	0	25,016		

153	乳幼児精密検査	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児健康診査において要精検査となった対象者の精密検査を医療機関で実施します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○引き続き、事業実施及び医師会協力	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	要精検対象者【腎エコー3人、その他18人】 未受診者2人
------------------	------------------------------

H26. 事業 内容	今後も継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
H25決算	9	0	0	0	9			
	H26予算	9	0	0	0	9		

154	健康診査未受診者への指導 (家庭訪問)	担当課	子育て支援課
事業内容	各種乳幼児健康診査未受診者に対し、虐待防止や乳幼児の健全な発達、発育確認のため、保健師が訪問し、受診勧奨を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○引き続き、地区担当保健師による事業実施。 ○未受診者のフォローのあり方について、関係機関とも連携し、検討していく。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	・健康管理システムから未受診者把握をし、葉書で受診勧奨しているが、なお未受診の場合地区担当保健師から電話、家庭訪問で受診を勧奨した。 ・家庭訪問等でも把握できないケースについては、子ども家庭相談室(要保護児童対策地域協議会)に通告した。
------------------	---

H26. 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続実施 2歳児歯科健診、3歳児健康診査未受診者への受診勧奨ハガキを翌々月から翌月へと変更しなるべく早めに受診してもらうようにする。 未受診者へのフォローについてのフローを作製する。 要保護児童対策地域協議会との連携を図る。 	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0		0
		H23決算	80	0	0	0		80
		H24決算	80	0	0	0		80
		H25決算	103	0	0	0		103
H26予算	103	0	0	0	103			

155	育児教室	担当課	子育て支援課
事業内容	1歳6ヶ月児・3歳児健康診査などの経過観察として、親子を対象に集団的な遊びや個別相談を通じて指導や助言を行い、健全な発育や発達を促します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業実施 関係機関と現状、課題を共有し、円滑な運営について検討していく。 	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	従来どおり実施し一定の成果はあったが、事業の目的としてきた児の発達を確認し促していきたいが、保護者の養育力不足のため、児の発達が影響を受けている状況も見られ、今後事業をより充実させるための具体的な方法を検討していく必要がある。
------------------	---

H26. 事業 内容	事業を充実させるため、毎回のカンファレンスの方法について見直しをする。 関係機関との連携（子ども家庭相談室、障害福祉課等）をしていく。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	1,003	0	0	0		1,003
		H23決算	2,032	0	0	0		2,032
		H24決算	2,111	0	0	0		2,111
		H25決算	2,164	0	0	0		2,164
H26予算	2,303	0	0	0	2,303			

156	乳幼児健康教育	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児やその家庭の健康保持・増進を図るため、保健師などが地区の公民館やコミュニティセンターなどに向いて健康知識の普及や実技指導を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	継続事業実施	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	従来から実施していた公民館や地区サークル等からの要望に応え事業展開しているだけでなく、親支援プログラム（CSP）の地域展開の準備を行った。
------------------	---

H26. 事業 内容	親支援プログラム（CSP）を社会教育と企画運営していく。 公民館で事業展開する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

157	(再) 訪問指導 (妊産婦・新生児・未熟児・乳幼児)	担当課	子育て支援課
事業内容	妊産婦や新生児、乳幼児の健康を守るため、保健師や助産師などが訪問し、授乳指導を行い、育児確立のための支援を行います。		
計画目標	要望家庭・随時訪問実施 訪問件数1,000件		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○妊娠届出から就学前までの乳幼児らの状況把握、支援の必要性について検証し、第2子以降で特に支援が必要でない新生児については、地域の子育てサポーターと民生委員児童委員がペアとなって訪問、また、第1子及び支援が必要な新生児・乳幼児については、助産師等の専門員が訪問指導を行った。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	訪問指導件数 1518件 ・ こんちは赤ちゃん訪問 849件 内訳 専門職訪問582件 子育てサポーター・民生・児童委員267件)
------------------	--

H26. 事業 内容	引き続き、妊娠届出から就学前の乳幼児の状況把握、支援の必要性について検証していく。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,810	469	0	0	1,341	
		H23決算	4,424	2,212	0	0	2,212	
		H24決算	5,244	2,918	0	0	2,326	
		H25決算	5,405	0	2,707	0	2,708	
H26予算	5,764	1,921	1,921	0	1,922			

158	アレルギー教室	担当課	子育て支援課
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者又は関心のある保護者を対象に、問題や対象別に医師その他の専門職による講演会や保健指導教室を行います。		
計画目標	年2回開催 参加者100人		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○身近なかかりつけ医を講師として依頼。 ○アレルギーだけでなく、かかりつけ医がよく相談されることをテーマに教室を開催するなど、内容について医師会と検討していく。	事業評価	B・Cの理由
		B	参加人数がH24年度と同程度であった。

H25. 報告 事項	<ul style="list-style-type: none"> 大学病院小児科医によるアレルギー教室 9/26 21人参加 市内小児科医による予防接種の基本と最新情報 3/26 16人参加
------------------	---

H26. 事業 内容	2回実施予定	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	71	0	0	0	71	
		H23決算	54	27	0	0	27	
		H24決算	63	0	0	0	63	
		H25決算	92	0	0	0	92	
H26予算	92	0	0	0	92			

159	アレルギー相談会	担当課	子育て支援課
事業内容	小児疾患支援対策として、小児アレルギー疾患児又は疑いのある児及びその保護者に対し、生活上の問題点について、専門医師その他専門職による個別相談を行います。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	計画どおり実施	事業評価	B・Cの理由
		A	テーマの検討必要

H25. 報告 事項	平成24年度と同様(市内施設の専門職は、保育課や学校教育課がそれぞれ実施する事業で対応。)母子保健従事者は、アレルギー教室の参加を勧奨し、その外、県、他課の案内を勧奨した。
------------------	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	92	0	0	0	92	
H26予算	92	0	0	0	92			

160	アレルギー職員研修会	担当課	子育て支援課
事業内容	指導・相談体制の充実を図るため、市内の施設に勤務する保健師・助産師・看護師・養護教諭・保育士・歯科衛生士・栄養士等を対象に、小児疾患に対する正しい知識の普及や緊急時の対処等についての研修を行います。		
計画目標	継続実施		
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)			

H25. 取組 結果	○平成24年度同様実施	事業評価	B・Cの理由
		A	職員向けには実施せず、市民向け講座を案内している。

H25. 報告 事項	市内施設の専門職は、保育課や学校教育課がそれぞれ実施する事業で対応。母子保健従事者は、アレルギー教室に全員ではないが、参加。県、他機関実施の教室を案内。
------------------	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	33	0	0	0	33	
		H23決算	54	0	0	0	54	
		H24決算	63	0	0	0	63	
		H25決算	92	0	0	0	92	
H26予算	92	0	0	0	92			

161	育児・栄養電話相談	担当課	子育て支援課					
事業内容	保健師や栄養士が、健康や育児、栄養に関する電話相談を受け付けます。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	○引き続き、継続事業実施。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	健康カレンダー、各乳幼児健診、相談等で体制の紹介を行った。 電話相談だけではなく、その後他の事業を紹介して保護者が安心して食育に取り組めるようにした。							
H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	1,929	848	0	0	1,081	
		H24決算	3,368	0	0	0	3,368	
		H25決算	355	0	0	0	355	
H26予算	355	0	0	0	355			

162	乳幼児健康電話相談	担当課	子育て支援課			
事業内容	保健師等により、乳幼児の育児等に関する電話相談を実施します。					
計画目標	継続実施					
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)						
H25. 取組 結果	○引き続き、継続事業実施。	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告 事項	育児について心配なことが解消されるよう、安心して子育てができるよう電話をきっかけにし各種相談につなぐようにした。電話相談を従来とおりしつつも直接相談(面談)対応へ結びつけ、具体的な助言を行った。					

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	1,929	848	0	0	1,081	
		H24決算	3,368	0	0	0	3,368	
		H25決算	355	0	0	0	355	
H26予算	355	0	0	0	355			

163	乳幼児健康相談（すくすく健康相談）	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児の健全な成長や発達を促すため、地区公民館などにおいて、身長・体重計測、健康相談などを行います。		
計画目標	継続実施		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	○引き続き、継続実施。 ○効果的な事業運営できるよう、各地区の実情を検証していく。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	新生児全戸訪問や各種健診と継続して利用できるよう体制を整備し、より安心して子育てができる体制を作った。 延べ2063件の来所相談があった。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫支出金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,505	62	0	0	2,443	
		H23決算	2,869	1,434	0	0	1,435	
		H24決算	2,145	0	0	0	2,145	
		H25決算	2,126	0	0	0	2,126	
H26予算	2,143	0	0	0	2,143			

164	(再)療育相談	担当課	子ども家庭相談室
事業内容	専門相談員が、心身の発達に遅れや心配のある乳幼児等に関する相談に応じ、具体的な支援を行います。		
計画目標	相談支援件数 2,200件		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	継続実施 相談支援件数1,973件	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	児童発達支援事業などの療育機関の定員がいっぱいで、療育相談の結果、療育機関の利用が児の健やかな発達のために有用であると判断したとしても、受けってもらうことが困難という状況が年々生じている。子ども家庭相談室の療育相談の枠でフォローするなど工夫しながら対応しているため、相談支援件数が増加している。		
------------------	---	--	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	10,106	0	0	0	10,106	○		
H23決算	10,169	0	0	0	10,169	○		
H24決算	10,310	0	0	0	10,310	○		
H25決算	10,087	0	0	0	10,087	○		
H26予算	10,749	0	0	0	10,749			

165	各種予防接種	担当課	健康管理課
事業内容	感染症の予防と重篤化防止のため、法で定められた予防接種を委託医療機関等で実施します。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	委託医療機関等にて実施 ○定期接種：BCG、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ポリオ、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌 ○任意接種：風しん(MR・単独)予防接種の費用助成	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○接種率の低いワクチンや積極的勧奨が望まれるワクチンについて、個別に接種勧奨ハガキを送付し、接種率向上に努めました。 ○頻繁かつ緊急に制度改正が行われるため、市民や医療機関への周知期間が不十分な状況にあります。 ○3ワクチン(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌)の定期接種化にあたり、市民が不自由なく接種を行うことができるよう、切れ目のない事業実施をしました。 ○風しんの流行に伴う先天性風しん症候群の発生を防ぐため、妊娠を希望する女性や妊婦の夫を対象とした予防接種費用の助成を行いました。		
------------------	---	--	--

H26. 事業 内容	委託医療機関等にて実施 ○定期接種：BCG、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、ポリオ、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ・小児用肺炎球菌 ○定期接種化される見込み：水痘、高齢者肺炎球菌 ○任意接種：風しん(MR・単独)予防接種の費用助成	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	173,700	0	8,857	0	164,843			
H23決算	314,496	0	69,649	0	244,847			
H24決算	282,801	0	46,352	0	236,449			
H25決算	228,280	0	1,600	0	226,680			
H26予算	272,435	0	0	0	272,435			

166	SIDS予防対策	担当課	子育て支援課
事業内容	乳幼児期に起こる乳幼児突然死症候群(SIDS)予防のためのPR等を行います。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	引き続き継続実施	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	妊娠届出時、母親父親教室時に普及啓発実施		
------------------	----------------------	--	--

H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
H26予算	0	0	0	0	0			

167	健康カレンダーの配布	担当課	健康管理課
事業内容	健康診査、予防接種等の日程等を掲載した「健康カレンダー」を新聞に折り込み全戸配布します。		
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・年間43,000冊 		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。43,000冊発行
------------------	--

H26. 事業 内容	全世帯に対し、新聞折込及び市役所窓口、各公民館等にて配布。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	406	0	0	0	406	
		H23決算	398	0	0	0	398	
		H24決算	398	0	0	0	398	
		H25決算	389	0	0	0	389	
H26予算	504	0	0	0	504			

168	乳児訪問の充実 (こんには赤ちゃん訪問)	担当課	子育て支援課
事業内容	生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を児童委員や子育てサポーター等が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、「乳児のいる家庭の孤立化」を防止、健全な育成環境を図ります。		
計画目標	継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	○子育てサポーターこんには赤ちゃん訪問 協力者の増員	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	引き続き、第2子以降で特に問題のない4ヶ月未満の乳児家庭に家庭訪問を267件実施。事業がより円滑に行くようにサポーターとの意見交換を定期的に行った。							
H26. 事業 内容	継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	1,829	1,700	0	0	129	
		H23決算	5,102	2,551	0	0	2,551	
		H24決算	5,244	2,621	0	0	2,623	
H25決算	5,415	0	2707	0	2,708			
H26予算	5,764	1,921	1921	0	1,922			

4-③小児医療の充実

<施策の対応方針>

○一次・二次・三次の救急小児科医療体制の体制強化を図るため、関係医療機関の協力を得て、小児科医の確保定着を図っていきます。

○小児医療費助成の充実を図っていきます。

○ひとり親家庭の医療費にかかる経済的負担の軽減を図ります。

169	二次救急小児科医療体制の整備		担当課	健康管理課				
事業内容	休日夜間における入院・手術の必要な小児の二次救急患者に対し、関係医療機関の協力を得て、適切な医療の供給を図ります。							
計画目標	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	事業評価	B・Cの理由					
		B	伊勢原協同病院の小児科医師の不足等により、伊勢原協同病院の輪番担当日数が減少したため。					
H25. 報告事項	<p>○伊勢原協同病院小児科の医師不足により、100%実施が困難な状況にありましたが、同じ2次医療圏の秦野市と連携し、秦野赤十字病院の当番割合を増やすなど、100%実施体制を確保しました。</p> <p>○全国的に小児科医が不足しており、複数の病院の連携が望まれます。</p>							
H26. 事業内容	秦野赤十字病院と伊勢原協同病院の輪番制で100%実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	16,304	0	0	10,074	6,230	
		H23決算	10,141	0	0	6,205	3,936	
		H24決算	9,568	0	0	4,933	4,635	
H25決算	11,945	0	0	6,960	4,985			
H26予算	16,601	0	0	8,780	7,821			

170	(再)小児医療費助成事業		担当課	子育て支援課			
事業内容	0歳から中学校卒業までの子どもの入院や通院に係る医療費の一部を助成し、家庭における子育て費用の負担の軽減を図ります。						
計画目標	通院対象年齢の拡大						
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）							
H25. 取組結果	0歳児～小学3年生（所得制限なし）の通院・入院について266,932,284円(140,566件)、小学4年生～中学生（所得制限あり）の入院について1,049,670円(19件)の助成を行った。	事業評価	B・Cの理由				
		A					
H25. 報告事項	例年どおり実施						

H26. 事業 内容	○継続実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	232,530	0	57,928	0	174,602	
		H23決算	239,940	0	78,817	0	161,123	○
		H24決算	285,112	0	55,613	0	229,507	○
		H25決算	270,642	0	54,002	0	216,640	○
H26予算	281,862	0	55,209	0	226,653	○		

171	(再)ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課	子育て支援課					
事業内容	ひとり親家庭の家族が病気等で受診したときの医療費の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図ります。							
計画目標	継続実施							
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)								
H25. 取組 結果	ひとり親家庭の世帯員に対し、46,457,667円(17,648件)の医療費を助成した。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告 事項	例年どおり実施							
H26. 事業 内容	例年どおり実施	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	51,575	0	24,170	0	27,405	
		H23決算	52,248	0	24,750	0	27,498	
		H24決算	48,441	0	22,091	0	26,350	
		H25決算	51,345	0	24,402	0	26,943	
H26予算	49,359	0	23,337	0	26,022			

基本目標5 子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進します

施策の目標

- 子どもにとって安全なまちであると感じる保護者の割合を増やします
- 妊婦や親子にとってやさしいまちであると感じる保護者の割合を増やします

5-①親子が安心して集える場の確保

<施策の対応方針>

○都市交園等における遊具等の維持管理、周囲からの見通しの確保、高低差の解消など、既存施設の充実に努めます。

○市民ニーズにあった使いやすい公園の整備について、市民と一体となって進めていきます。

○身近な生活環境において、防災機能など都市公園に求められる多くの役割を十分に果たせるよう、整備計画等を策定し、計画的に施設整備を進めていきます。

172	市民参加の公園づくり	担当課	公園緑地課					
事業内容	市民ニーズに対応した公園づくりを進めるため、ワークショップ方式による市民参加型の公園づくり及び一部管理を推進します。							
計画目標	公園愛護会の拡大、平成22年度下原公園をワークショップによるリニューアルを検討							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	・新規設立愛護会の募集 ・公園愛護会の活動推進	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	○公園愛護会全体会議を開催し会員同士の情報交換を図ると共に、広報及びHP等で新規団体の設立促進を図った。また、既存団体への物品貸与、消耗品支給を行い、活動を支援した。 ○課題 団体ごとに活動内容の差が大きい 高齢者中心の団体での後継者の育成 ○一部会員からは愛護会に対する支援の充実を求める声があがっている。							
H26. 事業内容	・新規設立愛護会の募集 ・公園愛護会の活動推進	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳			重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	2,204	0	0	1,100	1,104	
		H23決算	448	0	0	0	448	
		H24決算	392	0	0	0	392	
H25決算	9	0	0	0	9	○		
H26予算	198	0	0	0	9	○		

173	運動公園整備事業	担当課	公園緑地課
事業内容	市民ニーズを踏まえ、総合運動公園の広場等について、改修整備計画を策定し、計画的な整備を推進します。		
計画目標	総合運動公園の広場等の改修整備について計画策定を検討		
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）			
H25. 取組結果	・総合運動公園体育館天井改修工事の実施 ・総合運動公園に関し、公園施設長寿命化計画策定のための点検・調査を行った。	事業評価	B・Cの理由
		—	
H25. 報告事項	○工事期間中の体育室が利用できないため調整を行いながら、工事を行った。 ○課題 ・体育施設備品の更新要望がある。		

H26. 事業 内容	・総合運動公園内施設の修繕箇所調査・補修	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	0	0	0	0	0	0		
H23決算	0	0	0	0	0	0		
H24決算	2,348	1,150	0	0	1,198			
H25決算	134,862	67,400	0	67,400	62	○		
H26予算	0	0	0	0	0			

174	防災公園整備事業	担当課	公園緑地課
事業内容	防災機能を備えた公園設備を推進するため、防災公園整備計画を策定し、計画に基づく施設整備を進めます。		
計画目標	平成23年度に防災公園整備計画を策定し、以後計画に基づき事業実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	・防災公園整備計画の策定 ・事業実施に向けた調整	事業評価	B・Cの理由
		C	防災機能を有する公園整備の方針等については、未だ調整中であり、まとめあげられなかったため。

H25. 報告 事項	○課題 ・防災公園整備費用の確保
------------------	---------------------

H26. 事業 内容	防災公園整備計画の策定	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
H22決算	0	0	0	0	0			
H23決算	3,675	0	0	0	3,675	○		
H24決算	0	0	0	0	0	○		
H25決算	0	0	0	0	0	○		
H26予算	0	0	0	0	0	○		

175	青少年広場及び児童遊園の維持管理	担当課	青少年課
事業内容	健全な児童の遊びや活動の場として、維持管理を行います。		
計画目標	地域における青少年の健全育成を推進するため、維持管理を継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	従来どおり、管理運営	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○大田青少年広場に防球ネットを設置するなど、環境整備を行った。
------------------	---------------------------------

H26. 事業 内容	従来どおり、管理運営	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	8,233	0	0	0	8,233	
		H23決算	8,300	0	0	0	8,300	
		H24決算	8,293	0	0	0	8,293	
		H25決算	8,185	0	0	0	8,245	
		H26予算	8,384	0	0	0	8,384	

176	児童遊園、遊具の修繕助成	担当課	社会福祉協議会							
事業内容	自治会や子ども会などで管理する児童遊園に対し、遊具などの修繕を行います。									
計画目標	継続実施									
A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)										
H25. 取組 結果	修繕結果 7地区14件	事業評価	B・Cの理由							
		—								
H25. 報告 事項	地域の次世代の担い手である子供達に安全な遊び場の提供ができた。									
H26. 事業 内容	○例年どおり実施。事業を通して児童の心身の健康増進と健全育成を図る。 ※財源は社協会員会費	予算額・財源内訳(単位：千円)								
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策		
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源			
				H22決算	943	0	0	943	0	
				H23決算	1,081	0	0	1,081	0	
				H24決算	1,076	0	0	1,076	0	
		H25決算	1,021	0	0	1,021	0			
		H26予算	1,203	0	0	1,203	0			

5-②子どもの安全の確保

＜施策の対応方針＞

○道路や公園、公共交通機関、公共建築物等において、段差の解消、旅客施設等の改善を進めます。

○バリアフリーの徹底やユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりを推進し、安全で快適な生活環境を整備します。

○警察、関係機関・団体等との連携を強化し、パトロール活動等を行い、犯罪防止活動に取り組んでいきます。

177	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	都市総務課					
事業内容	・鉄道事業者による駅のバリアフリー化、バス事業者による車両等のバリアフリー化 ・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する道路のバリアフリー化など							
計画目標	・伊勢原市交通バリアフリー基本構想の推進に係る連絡会議の開催 ・各事業者から進捗状況を確認し、事業実施状況の報告を受け、特定経路について、平成22年度までの完成について確認 ・引き続き準特定経路等の進捗状況の確認							
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）								
H25. 取組結果	・バス事業者へのノンステップバスの導入促進に取り組んだ。 ・庁舎敷地内の再整備を行った。	事業評価	B・Cの理由					
		A						
H25. 報告事項	・ノンステップバス導入による愛甲石田駅南口バス路線を開設した。							
H26. 事業内容	バリアフリー化の推進に向けた諸課題の整理を行うとともに、基本構想の更新の必要性について検討する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策	
		年度	総事業費	事業費内訳				
				国庫負担金	県支出金	その他		一般財源
		H22決算	4	0	0	0		4
		H23決算	4	0	0	0		4
		H24決算	0	0	0	0		0
H25決算	1,483	0	0	0	1,483			
H26予算	4,123	0	0	0	4,123			

178	交通バリアフリー法に基づく特定事業等の推進	担当課	道路整備課			
事業内容	・伊勢原駅、愛甲石田駅を中心とした重点整備地区における特定経路を構成する市道のバリアフリー化など					
計画目標	特定経路のうち市道の交通バリアフリー化完了（特定経路のバリアフリー化延長L=1,490m）準特定経路の交通バリアフリー化着手					
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）						
H25. 取組結果	準特定経路の整備着手 ・市道60号線歩車共存道路整備事業	事業評価	B・Cの理由			
		A				
H25. 報告事項	○伊勢原市通学路等整備促進検討会（担当：学校教育課）及び通学路合同緊急点検結果のうち、道路特定事業計画に関連する事業を実施した。					

H26. 事業 内容	(執行計画) 歩行者ネットワーク経路の整備 ・市道313号線歩道整備事業 ・市道776号線交差点改良事業	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	14,144	5,750	0	5,300	3,094	○
		H23決算	0	0	0	0	0	○
		H24決算	0	0	0	0	0	○
		H25決算	21,984	11,929	0	9,460	595	○
		H26予算	25,200	13,585	0	10,300	1,350	○

179	関係機関との連携・防犯パトロールの推進	担当課	交通防犯対策課
事業内容	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。		
計画目標	青色回転灯 20台		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めました。 青色回転灯 17台	事業評価	B・Cの理由
		—	地域防犯活動・パトロールについては、継続して実施されているが、青色回転灯配備車両の増加が達成できないため

H25. 報告 事項	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めました。 青色回転灯 17台		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	警察署や防犯協会、防犯指導員部会などの関係団体との連携や、防犯パトロールを実施して、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

180	「あなたを守る家」運動への協力	担当課	社会教育課
事業内容	市民が連帯して子どもを犯罪から守るため、緊急な場合などに子どもを保護する運動（市PTA連絡協議会）に市として協力します。		
計画目標	継続支援		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	・伊勢原市PTA連絡協議会事業費補助金を交付した。（市民活動災害補償制度の対象事業として支援）	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○事業協力者の拡大		
------------------	-----------	--	--

H26. 事業 内容	・伊勢原市PTA連絡協議会事業費補助金を 交付予定（市民活動災害補償制度の対象事業 として支援）	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	218	0	0	0	218	
		H23決算	218	0	0	0	218	
		H24決算	197	0	0	0	197	
		H25決算	218	0	0	0	218	
		H26予算	218	0	0	0	218	

181	防犯指導の実施	担当課	交通防犯対策課
事業内容	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。		
計画目標	3回		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。	事業評価	B・Cの理由
		B	地元等の依頼に基づき市政出前ミーティングを行い、防犯活動を推進したが、目標回数を達成できないため。

H25. 報告 事項	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進しました。 1回実施
------------------	--

H26. 事業 内容	地元等の依頼に基づく市政出前ミーティング等を通じて、防犯指導を行うなど、防犯活動を推進します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

182	交通安全教育の推進	担当課	交通防犯対策課
事業内容	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進します。		
計画目標	実施回数 36回/年		

A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）

H25. 取組 結果	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進しました。 実施回数 41回/年	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を伊勢原警察署と連携しながら推進しました
------------------	--

H26. 事業 内容	世代や対象に応じた交通安全意識の啓発や交通安全指導等の交通安全教育を推進する。 実施回数 4 2回/年 (予定)	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

183	通学路の安全対策	担当課	学校教育課
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。		
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	通学路の安全点検を実施して危険箇所の改善及び計画的な整備を進めていきます。また、通学路に安全指導員を配置します。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	○学校別に実施する通学路点検には学校職員・PTA・自治会・交通指導員・防犯指導員等・行政(学校教育課・交通防犯対策課・土木部道路担当課)・警察署などが参加して、通学路の問題点などを現場で確認して共通理解を図った。 ○学校からの改善要望には、できるところから随時整備を実施した。 ○緊急で整備する必要がある箇所は早急な改善整備を実施した。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	通学路の安全点検を実施して危険箇所の改善及び計画的な整備を実施していく。 ○引き続き通学路に安全指導員を配置する。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	3,046	0	0	0	3,046	
		H23決算	3,051	0	0	0	3,051	
		H24決算	3,220	0	0	0	3,220	
		H25決算	3,080	0	0	0	3,080	
		H26予算	3,284	0	0	0	3,284	

184	通学路の安全対策	担当課	道路整備課
事業内容	歩道や歩車共存道路等の整備を推進し、通学路の安全を確保します。		
計画目標	幹線市道の歩道整備延長 L = 1, 140m 歩車共存道路による通学路の整備延長 L = 500m		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	(執行実績) ・市道54号線歩道整備事業 ・市道59号線歩道整備事業 ・市道3号線歩道改良事業 ・市道60号線歩車共存道路整備事業 ・市道52号線外1路線歩車共存道路整備事業 ・市道901号線歩車共存道路整備事業 ・市道2615号線歩車共存道路整備事業	事業評価	B・Cの理由
		—	

H25. 報告 事項	○伊勢原市通学路等整備促進検討会(担当：学校教育課)及び通学路合同緊急点検の実施により、地域や学校からの意見を聴取して事業計画に反映し、事業を実施した。		
------------------	--	--	--

H26. 事業 内容	(執行計画) ・市道59号線歩道整備事業 ・市道56号線歩道整備事業 ・市道2号線歩車共存道路整備事業 ・市道58号線歩車共存道路整備事業 ・市道1071号線歩車共存道路整備事業	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	113,621	43,509	0	28,000	42,112	○
		H23決算	192,444	98,737	12,885	68,500	12,322	○
		H24決算	127,902	67,023	0	49,100	11,779	○
		H25決算	151,459	81,367	0	62,800	7,292	○
		H26予算	131,071	68,530	0	52,100	10,441	○

185	通学路の安全対策	担当課	交通防犯対策課
事業内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員や防犯指導員を通学路に配置したり、防犯灯を設置するなどして、通学路の安全を確保します。		
計画目標	小中学校の通学路の安全点検を継続して実施		

A (計画どおり進捗した) B (やや遅れている) C (ほとんど進捗していない)

H25. 取組 結果	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保しました。また、地元からの要望を受け、伊勢原警察署に交通規制の要望や規制標識、路面標示の補修等を要請しました。	事業評価	B・Cの理由
		A	

H25. 報告 事項	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保しました。
------------------	--

H26. 事業 内容	庁内関係課で組織する「通学路等整備促進検討会」での検討を進め、関係機関等と連携し、交通指導員等を通学路に配置したり、防犯灯を設置したりするなどして、通学路の安全を確保します。	予算額・財源内訳(単位：千円)						
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策
				国庫負担金	県支出金	その他	一般財源	
		H22決算	0	0	0	0	0	
		H23決算	0	0	0	0	0	
		H24決算	0	0	0	0	0	
		H25決算	0	0	0	0	0	
		H26予算	0	0	0	0	0	

186	防犯灯の整備	担当課	交通防犯対策課						
事業内容	耐用年数を経過した箇所の器具交換、維持管理を進めるとともに、補完的な設置を進めます。								
計画目標	7,000本 今後の新設及び器具交換は、照度アップした防犯灯を設置								
A（計画どおり進捗した） B（やや遅れている） C（ほとんど進捗していない）									
H25. 取組 結果	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換しました。また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置しました。 H25年現在 7,255本	事業評価	B・Cの理由						
		A							
H25. 報告 事項	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換しました。また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置しました。								
H26. 事業 内容	夜間の歩行者を犯罪から守るため、通勤通学路等に設置した20W型防犯灯を計画的にLED防犯灯に交換する。また、重大な犯罪が発生した場合など、緊急性が高い箇所については、新たな防犯灯を設置する。	予算額・財源内訳(単位：千円)					重要 施策		
		年度	総事業費	事業費内訳				重要 施策	
				国庫負担金	県支出金	その他			一般財源
		H22決算	10,465	2,385	0	0		8,080	○
		H23決算	13,193	2,415	0	0		10,778	○
		H24決算	11,092	3,378	0	0		7,714	○
H25決算	11,466	0	0	0	11,466	○			
H26予算	12,812	2,362	0	0	10,450	○			